

秘



法律取
詢
委員
會

民法草案財產編人權ノ部議事筆記

自第三十八回
至第四十一回

日本學術振興會

民法草案財產篇人權ノ部議事錄記三十八回

自第五百四十一條
至第五百五十三條

XB300
N 2
2 b.5

清岡委員 ケレトモ兩方ガ少イ方テナケレハ最寡ト云フハ當リマセ
ヌ

栗塚報告委員 原文ニハ最モ弱イトアリマスカラ最モ力ノ足りナイ
モノトアリマスノデス

松岡委員 註ニハ稍寡ヒト云フ字ガアリマス

清岡委員 兩方較ベテ寡ヒ方デシヨウ
栗塚報告委員 左様デス
委員長 先ヘヤリマシヨウ

本條ハ原案ニ決ス
第五百四十二條朗讀ス

第五百四十二條 二箇ノ債務力主タルモノ、互ニ代補スルコトヲ
得ヘキモノ明確ナルモノ、要求スルコトヲ得ヘキモノニシテ且
相殺カ法律ノ條例ニ因リ又ハ當事者ノ明示若クハ默示ノ意思ニ

因リ禁セラレサルトキハ法律上ノ相殺ハ當事者ノ不知ニ於テモ
當然行ハル(第一千二百九十條、第一千二百九十一條第一項)
(修正)「主タルモノ、レチ主タルモノ」ト「明確ナルモノ
、レチ明確ナルモノ」ト改ム

栗塚報告委員 本條ノ修正ハ「ノ」ト云フ字チ一ツ刪リ二箇ノ債務
者ガ主タルモノ互ニ代補スルコトヲ得ヘキモノ明確ナルモノ、云
々トシマシタ、此所ハ四通リノモノヲ見セタノデ、皆モノニシテ
行ク積リテアリマス

清岡委員 ノノトヤルト、如何ナル理解力、モノニ要求シ得ヘキモ
ノト云フト、明確ナルモノデ、要求シ得ヘキモノデアルト云フ嫌
ヒガアリマス

栗塚報告委員 少シ其嫌ヒカアリマス
委員長 要求シ得ヘキモノト云フハドンナモノデスカ

栗塚報告委員 拂ヒ期限カ切レテ何時デモデス

委員長 二箇ノ債務デシヨウ

栗塚報告委員 左様デス

委員長 何レモ二箇ノ債務カ皆進入テ居ルカ

栗塚報告委員 皆進入ツテ居リマス、直譯タカラデスガ、意譯デハ

共ニトヤツタ方カ宜シイノデシヨウ

清岡委員 互ニ代補スルト云フ字ガアルト、主タルト云フ字ノ上ニ

共ニトヤツタラ宜サソウナ心持ガシマス

南部委員 共ニ明確ナル共ニ要求シ得ヘキモノト云フカ、共ニ互ニ

テスネ

松岡委員 此方ノ義務ト、向ウノ義務ト、双方ノ權利義務タノ代補

デハ出來マセスト云フラシイ、外ノ共ニト云フ字トハ違ウラシイ

南部委員 互相ノ間ニ代補スルト云フ旨意デス

渡委員 債務ガ明確ナルト云フハ如何ナルコトデスカ

栗塚報告委員 違キ通ツテ見ヘルト云フ字デアリマス、先へ行テハ

一々説キ明シカ付テ居リマス

松岡委員 精算ト云フト、秘密ニ勘定スルト云フコトニナル

清岡委員 「不知ニ於テモ當然行ハル」ハトウモオカシイ

栗塚報告委員 「不知ニテ」デハ如何デスカ、此所ハ法律上然カモ

相殺ハ當事者ノ不知ニテ當然行ハルト云フコトデス

清岡委員 「不知ニテモ」カ宜カロウ

松岡委員 日本ノ言葉ニスルト同シデス、元來當然行ハル、不知ニ

テモ實際裁判官モ知ラスニ居ルカラ、矢張り言立ナケレハナラン

詰リ相殺ト云フモノハ法律上當然行ハル、支ケニナルノデス

栗塚報告委員 併シ一方ハ知ラナクテモデス

松岡委員 知ル知ラヌニ拘ハラヌ、當然行ハル、ニ至ルノデス

南部委員 効力遡ルト云フカ旨意デス

清岡委員 知ライデモデス

村田委員 知ラズト雖モデス

委員長 不知ニテモトシマシヨウ、先ヘヤリマス

本條ハ「不知ニ於テモ」ハ「不知ニテモ」ト改メ其他ハ報告委員ノ修正ニ決ス

第五百四十三條朗讀ス

第五百四十三條 主タル債務者ハ債權者カ保證人ニ對シ負擔スルモノ、相殺ヲ對抗スルコトヲ得ス然レトモ訴追セラレタル保證人ハ債權者カ主タル債務者ニ對シテ負擔スルモノニ付テモ又其已レニ對シテ負擔スルモノニ付テモ債權者ニ相殺ヲ對抗スルコトヲ得（第一千二百九十四條第一項及ヒ第二項）
連帶債務者ハ債權者カ其共同債務者ニ對シテ負擔スルモノニ付

テハ債務ニ於ケル共同債務者ノ部分ニ對スルニアラサレハ相殺ヲ對抗スルコトヲ得ス然レトモ自己ノ權利ニテ相殺ス對抗スヘキトキハ全部ニ付キ之ヲ對抗スルコトヲ得（第一千二百九十四條第三項伊民第一千二百九十條）

若シ數人ノ連帶債權者アルトキハ債務者ハ債權者ノ一人カ已レニ對シ負擔スル總テノモノ、相殺ヲ常ニ訴追者ニ對抗スルコトヲ得

若シ義務カ或ハ債務者ノ間或ハ債權者ノ間ニ不可分ナルトキハ相殺ハ受方又ハ働方ノ連帶ニ於ケルト同一ノ方法ニテ許サル

栗塚報告委員 一項ノ「付テモ」ハ要ラヌノテス

松岡委員 上ノ通りニスレバ、ソレテ宜シイノデス

栗塚報告委員 付テモカニツアルノハ何モナラヌノデス

松岡委員 總テ物ノ相殺ハ一、二、三項トモ全部トハヤレヌノデス

カ、種類ノ違フコトヲ云フノデシヨウ、上デ承ケルト、債權者ノ一人ハ己レニ對シテ負擔スル矢張り全部デシヨウ

栗塚報告委員 全部デハナイ

清岡委員 全部ト云フト負擔丈ケノモノデス

松岡委員 向ウノ債權者ハ負擔シテ居ルノタカラ、残リナシテ宜シイ

栗塚報告委員 貴君ト二人トガ、債權者デ、連帶債權者デス、ソコテ私ハ負債者貴君ガ一人丈ケ私ニ借リテ居ルノテ、スルトソレ丈ケハ相殺サセルノデアリマス

松岡委員 私ノ負擔シテ居ルハ残リナシデス

栗塚報告委員 借リテ居ルモノ、残ラステデス

南部委員 全部ニ付ハ總テノト云フノデハナイ、言ヒ場所カ違ヒマス

鶴田委員 二項ノ文章ガ分リマセヌ

栗塚報告委員 連帶債務者ダカラ、私ト南部サンハ債務者デ、債權者ノ松岡サン一人ハ共同債務ダカラ、私ト南部ニ對シテ負擔スルモノニ付テ、何カ又借リカアツタノデス

鶴田委員 二人ニ對シテ借カアツタノデスカ

南部委員 一人デアリマス

栗塚報告委員 其債務者ダカラ二人ニ付テモ、一人デモデス

鶴田委員 連帶債務者ハ債權者ガ其兩人ノ内一人ニ對シテハカ、又二人ニ對シテハデスカ

栗塚報告委員 連帶債務者ノ一人ニ對シテ負擔スルモノニ付テハデ

ス

松岡委員 副譯ニハ一人ニ對シテト云フガアリマス

栗塚報告委員 全部デモ構ハヌガ、總體債權者ハ五人デ、五人ノ内

ニ二人ニハドウ云テモ宜シイ、共同債務者ト云フガ、總體債務者ノ連レト見レハ宜シイ

松岡委員 一人ト書イテモ同シコトデス

栗塚報告委員 連帶債務者カラ云テモ債務者デス

鶴田委員 ソレデ分ラヌ

栗塚報告委員 共同債務者ニ對シテ負擔スルモノニ付テ、其共同債務ノ部分ト云フ負擔ハ、何ニ對シテカ、債務ノ部分デス、南部サント私トテ千圓ノ金ヲ松岡サンカラ借リテ、私カ松岡サンニ三百圓貸カアツタノデ、スルト松岡サンカ負擔シテ居ル、ソレニ付テハデス其トキハ三百圓丈ケハ對抗カ出來ル、自己ノ權利ニテ之ヲ對抗スルハ全部ニ付對抗スルコトカ出來ルト云フ、併シナカラ對抗スルトキハ全部對抗シ得ルノデス

松岡委員 二人ノ例デハ足りナイデシヨウ

栗塚報告委員 二人ヲ宜シイ、私ト南部サンハ共同債務者デ、松岡サンハ債權者デス、所デ私カ訴ヘラレタトキ自己ノ權利デ、相殺對抗スルトキハ全部ニ付得ル、即チ三百圓ヲ得ルノデス

南部委員 栗塚サンカラ松岡サンニ貸タモノナレハ、全部對抗カ出來ル、私ガ部分デナケレハ往カヌト云フノハ、訴ヘテ受ケテ居ルノハ栗塚サンデアルカラデス

尾崎委員 連帶デ、二人デ訴ヘテ受ケテ居ルノテシヨウ

南部委員 ソウテハナイ、一人シテ訴ヘテ受ケテ居ルト見ナケレハナラン

栗塚報告委員 私ト南部サントノ何レカニ對シテ松岡サンカ負擔シテ居ル、其モノニ付テハ相殺ヲ對抗スルコトカ出來ルヤ否ヤト云フニ出來ルノデス、何レ丈ケ出來ルカナレバ、共同債務者ノ負擔丈ケ出來ルノデス

南部委員 然レトモ自分ガ貸テアツタ金ナレバ全部ニ付出來ルノデ
ス

清岡委員 一體部分ト云フ字ハオカシイ、連帶債務者ニ對スル部分
ト云フコトハナイ、連帶債務ナレハ部分ハナイ譯デス

南部委員 不可分ト見テナイカラ勘定ハ出來ル、勘定シテ分ケテ見
レハ部分ガアリマス

松岡委員 連帶ト云フ字チ今迄精ハシク云暇カナカツタガ、此所ハ
少シハ云ハナケレハナラン

尾崎委員 私ハ讀ミ間違ヘテ居ルカハ知レマセンガ、連帶債務者ハ
債權者ガ其共同債務者ニ對シテト云フト、二人ノ連帶ノ債務者ガ
アル、所ガソレハ係テ來ル債權者ハ二人ノ内カラ一人、又向ウカ
負債シテ居ルト負擔スル者カアル、ソレニ付テハ債務者ノ受ケル
共同債務者ノ部分デ、一人ノ部分ニ對スルニ非ラサレハ相殺ハ出

民財七ノ七

來マセヌトアリマス、然レトモ自己ノ權利ニテ相殺チ對抗スヘキ
トキハト云フト、一人ニ對シテハ全部對抗カ出來ルト思ヒマス

南部委員 自己ノ權利デ貸タ分ナレハト云フノデス
尾崎委員 自分一人デ對抗カ出來ルノデスカ

南部委員 ソレハ全部出來マス
尾崎委員 三百圓ナレハ三百圓丈ケハ出來ルノデスカ

南部委員 左様テス、ト云フノハ自分カ断ヘラレタモノハ向ウヘ貸
金ナシテ居ルカラ全部出來ルノデス

尾崎委員 跡ノ連帶者ハ如何デス
南部委員 連帶ノ人カ断ヘラレテナケレハ出來マセン、人ノ分チ以

テ相殺チシヨウト云フノデ、然レトモカラ上ハ人ニ貸テ居ル金チ
以テソレ丈ケチ差引シヨウト云フノタカラソレ丈ケノ部分デナケ
レハ出來マセヌ、自分ガ貸シタ金ナレハ全部差引キカ付クノテス

村田委員 假令ハ貴君ト私ト二人デ、連帶義務者タカラ私ト南部ガ債務者、松岡サンカ債權者デ千圓借タトスル、然ルニ私ハ貴君ニ千圓ノ貸タノデ、ソレチ貴君カ私チ訴ヘテ來ル、其トキ全部ニ付相殺力出來ルノデ、南部サンニ係タトキハ私ノ半分丈ケデス、即チ五百圓丈ケ相殺力出來ルノデス

南部委員 千圓ナレハ差引ハナクツテ仕舞フ

松岡委員 ソレハ往カヌ

南部委員 債務者ニ於ケル共同債務者ノ部分ダカラ、私ハ千圓分デス

松岡委員 私ハ本文ハ分リ悪イト思ヒマスガ、連帶ノ義務者ト云フノハ文字ノ通りニスルト何ノ人デモ、全部引受ケナケレハナラヌカ、然レトモ實ハ一人々々ノ部分ノ負擔デ、其外ノモノハ連帶シテ居テモ、ソレハ保證人ト云フ譯テ外ノ人ノ名義デアルノタ、ソ

民財七ノ八

コテ箇様ナ場合カ出ルノデ、此所テ今ノ例ノ通りノモノニスルト南部ト村田ハ私ニ二百圓借リカアル、ソコヘ私カ村田サンカラ五拾圓ノ借カアルト見ル、其トキ二百圓ノ貸チ南部サンニ係テ訴ヘタノデ、其トキ南部サンカ百圓ハ黙テ拂ハナケレハナラン、然ルニ連帶債務者ノ村田ニ五十圓借リカアルトスレハ、村田ノ五十圓ハ我レノ分デ引クソヨト、貴君ノ拂フヘキ分ノ内テ、相殺力出來ルト云フノテシヨウ

村田委員 ソレカラ私ニ向タトキハ如何カ

松岡委員 我レハ貴様ニ百圓ヤル譯タガ、貴様ニ五十圓貸カアルカラ五十圓持テ行テ、此百圓ハ南部ノモノタカラ、之モ持テ行ケト云フノデス

村田委員 ソレデ全部デシヨウ

南部委員 村田サンカ松岡サンニ貸タ金ハ私ト一緒ニ貸タノデハナ

イカラ、私ニ關係ハナイ、村田サンノモノナレハ差引ノ内へ導入
ルガ、私ノ分ハ差引シテ仕舞フト、村田サンガ迷惑致シマス

尾崎委員 ソレハ村田サンガ貴君ニ相談スレハ宜シイ

松岡委員 二百圓ノ所へ五十圓ノ借カアツテ、私ハ二百圓ノ断チシ
テ、南部サンハ百五十圓出シテ仲間ニ五十圓借リカアルカラト云
へハ、連帶ト雖モ拂フ時分ニハ必ラス耳ヲ揃ヘテシナケレハナラ
ンコトハナイ、銘々ノ部分ノ金ヲ見レハ、詰リ頭割リニ出ルハ當
リ前テ、取レヌ時分ニ南部サンニ係タトキ、我レハ百圓アル、村
田モ百圓出セト、其我レハ百圓出スガ、村田貴様ハ五十圓貸カア
ルカラ我レノ分デ引クト云フト、私ハ往カヌト云フノデス

尾崎委員 ソウスルト連帶デナイ様ニナル

南部委員 金カ違ヒマス、村田サンカラ貸テ居ル金ハ連帶デナイ

尾崎委員 私ハ連帶デナイガ、連帶義務ヲ負フテ居ルカラ假令村田

民財七ノ九

サンカ拂ハナクトモ、南部サンハ二百圓ハ拂ハナケレハナラン

南部委員 私カ出セハ論ハナイ、私ハ寡ク出スト云フ論タカラ往カ
ヌ、一人ハ身分ノ部分丈ケナレハ假令連帶デモ、二百圓借リテ居
ルト、連帶スル所以ハ一人シテ二百圓悉ク擔保テナクシテ銘々百
圓ツ、擔當シテ居ルノデス併シナカラ残り百圓ニ付テハ擔保シテ
居ルノデ、主タル債務ハ百圓デ、残り百圓ハ保證人ニナツタモ同
様デアリマス、ソコカラ考ヘルト分リマス

松岡委員 連帶ト云フモノハ如何ト云フニ、實ハ相保證スルノデス

尾崎委員 此所へ來テ精密テス

松岡委員 道理ハ左様デシヨウ、連帶ハ相保證スルノタト云フカラ
餘程精密デス、保證人ト云フ義務ヲ私カ百圓拂フト、向ウテハ五
十圓借カアツテモ、向ウノ百圓ニ適當スルガ、南部サンノ百圓ニ
ハ持テ行カレヌト云フハ成程道理ニ通フデシヨウ

栗塚報告委員 南部サンカ訴ヘラレタトキハ村田サンノ貸テアル、
全部ハ往カヌノデス

村田委員 私ノ丈ケ引ケハ宜シイ

栗塚報告委員 左様テス

村田委員 私ガ千圓貸タトキハ千圓往クノデ、二人デ千圓借リテ居
ルカラ、五百圓ハ部分テス

栗塚報告委員 松岡サンガ南部サント村田サンニ千圓ノ金ヲ貸テ居
ル、ソレカラ村田サンガ七百圓ノ金ヲ松岡サンニ貸テ居ル、其ト
キニ松岡サンガ村田サンチ相手取レハ七百圓差引勘定カアルカラ
跡ノ三百圓ホカ拂ハヌト云フ、ソウスルト全部ト云ヘル、併シ南
部サンニ係タトキハ南部サンハ私ハ残ラス拂フベキダケレトモ、
私ノ共同債務者ニ貴君ハ七百圓借カアルソウダ私ハ千圓借テ居ル
即チ共同ダカラ五百圓丈ケハ差引クト云ヘバ首ヘルノテアリマス

民財七ノ十

松岡委員 連帯ト云ヘハ五百圓ツ、ト云フコトハナイ、皆ガ千圓ト
思テ居ルノデ、ソレハ間違デス

栗塚報告委員 ソウデスガ、五百圓ツ、デ、跡ノ五百圓ハ保證人ノ
義務トシテ互ニ擔保スルノデスダカラ、千圓ノ内五百圓ツ、ト見

レハ部分ガ分ルノデス

南部委員 連帯ノ所ハ第四編ニアルカラ其處迄見ルト能ク分リマス
栗塚報告委員 部分ニ付テニアラサレバテス

村田委員 之テモ能ク見レハ分リマス

渡委員 村田サンノ様ニ虎ノ巻ヲ傍ニ置イテスレハ能ク分リマスガ
吾々ニハ分リマセヌ

鶴田委員 共同債務者ト債務ニ於ケル債務ト同ジデスカ

村田委員 共同債務者ノ債務デ、部分ニ對サナケレハ即チ今ノ南部
サント、私ノ所デスト、南部サンニ向タトキハ五百圓ノ外對抗ハ

出来マセヌノデス

鶴田委員 債務ニ於ケルトハ如何ナル譯カ

村田委員 千圓ニ於ケル、債務ノ部分ダカラ五百圓デシヨウ

鶴田委員 部分ニ對シテ相殺ストシタラ宜カロウ

栗塚報告委員 兎モ角モ分リ悪イ文章デスカラ修正致シマシヨウ

鶴田委員 本文ヲ見テハ分リ様ハナイ、然レトモ自己ト云フハ誰チ云

フノカ

南部委員 連帶債務者チデス

村田委員 自己ト云フノハ私カ松岡サンニ貸テ居マシヨウ、所チ私

ト南部サントデ借テ居マシヨウ、二人デ千圓借テ居ル、松岡サン

ハ債權者デ、所ガ私カ松岡君ニ別ニ千圓貸タトキニハ松岡君カラ

断ヘテ來ルトキハ何レヘ係ルカ知レヌ、私ニ係テ來ルカ、南部サ

ンニ向テ係テ來ルカ知レヌ、若シ南部君ニ係タトキハ南部サンハ

民財七ノ一

私ノ分ノ五百圓ホカ相殺カ出来マセヌガ、自己ノ債權ト云フ今度
私ニ向テ係タトキハ千圓貸ガアルカラ宜シウ御座イマスト云フノ
デス

鶴田委員 村田サンハ元ト債務者デス

村田委員 債務者ダケレトモ又貸タカラ相殺ニナルノデス、若シ七

百圓ナレハ跡三百圓ヤレハ宜イト云フノデス

委員長 南部サンニ向テノ分ハ此所ニハナイノデスネ

南部委員 然レトモカラ上ガアリマス

清岡委員 人ニ係タ部分ニハ人ノ部分丈ケホカ對抗ハ出来マセヌ、

自己ニ來タトキハ自己ノ權チ以テ對抗スルト云フ丈ケデ、連帶ニ

部分カアルト云フハオカシイト思タカ、百圓アレバ五十圓ツ、ト

云フカラ部分ガアルダケレトモ、若シ五十圓拂ハヌトキハ悉ク拂

ハナケレハナランカラ矢張り連帶義務ハ免カレヌ、兩方ガ拂ヘル

ナレバ五十圓ツ、拂テ宜シイノデス

委員長 共同債務者ト云フモノハ遺囑ノ所杯デハ何デモナイ連帶デ
モナイ債務ヲ只負擔スルコトニ付テ自分ノ資金デ債主ニ對シテ共
同文クテアツテ決シテ連帶テナイト云フ今度此所ニ至テ共同ト連
帶ト混淆シテ居ルカラ分ラヌ

栗塚報告委員 連帶トハ申セヌガ共ニ借テ居ル人ハ分リマス

委員長 文字ノ上テハ通例ニ借テ、直ク連帶ヲ以テ行クハ困リマス

清岡委員 債務ニ於ケルハ要ラス

栗塚報告委員 債務ニ於ケルハ必要テアリマス

渡委員 共同債務者ノ相殺ノ出來マセヌ一筋ノ部分ニ對シテハト新
ウアリマス、ソレカラ債權者ハ共同債務者ノ一人カラ借タトキハ
新ウナルト書キ分ケサヘスレハ明カテアリマシヨウカ意味ヲ見セ
テアルカラ如何トモ分ラヌ、今少シ字ヲ多クシタラ分ルカモ知レ

マセヌ

栗塚報告委員 自己ノ權利ニテト云フチ少シ書様ヲ改ノルト宜シイ
ノデス

清岡委員 下ノ項ニ若シ義務カ或ハ債務者ノ間或ハ債權者ノ間ニ不
可分ナルトキハ云フノハ要用デスカ

栗塚報告委員 若シ義務ガ不可分或ハ債務者ノ間或ハ債權ノ間ト云
フノデス

清岡委員 債權者ノ不可分ト云フノハ如何ナル譯カ

栗塚報告委員 註ニハ然カモ省イテアリマス債權者カ多勢ヲ債權者
カ多勢ノトキハ負債者ノ間テモ債權者ノ間テモデス、所ガ負債者
一人ノトキハ如何債權者多勢アロウトモ義務ノ不可分ト云フコト
ハアリマセヌ債權者ガ多勢アツタカラト云テ可分不可分ノ論ノ出
様ハナイ、債務者ガ多勢ノトキテナケレハ不可分ト云フ論ハナイ

南部委員 義務ト云フモノチ中へ立テ讀ムト宜シイ債權者ノ方カラ
云フト、債權ノ不可分義務ノ方カラ云フト義務ノ不可分テアリマ
ス

清岡委員 義務カ債權者ノ間ニ不可分ト云フハ

南部委員 眞中ニ義務カアルノデス

松岡委員 中間ノ義務ハ拂フ人カ數人アル時分、不可分ノ場合カア
ル取ル人カラ云チフトモ、不可分ノ場合ガアルト云フノデ、義務
ハ一ツノ名調ト見レハ宜シイ

栗塚報告委員 左様デス、ソレデヤニ依テ此所ハ馬ノ例ハ往カヌ、
合意上デナケレハ往カヌ意思上ノ不可分デナケレハ出ナイ、本性
ニ因レル不可分デハ箇様ナ問題ハ出ヌデス

松岡委員 此場合デ不可分ハ何カナレハ、全ク金錢テアリマス、相
殺ノ本體ハ其様ニ確定物デハ出來ヌノデス

委員長 債務者ノ一人トヤツテ、下ハ債權者ガ他ノ連帶債務者ニ對
シテトヤツタラ分リ易イカモ知レヌ

渡委員 連帶債務者ノ一人ハト書ケマセンカ

南部委員 ソレハ一人ハガ宜ウ御座イマシヨウ

松岡委員 債務ニ於ケルチ下ヘヤツテ、債務者ノ債務ノ部分ニトヤ
リタイガ、併シ之モ前ヨリハ改良シタノテス

鶴田委員 道理ハ之テアリマスケレトモ、併シナカラ書キ見ハスコ
トハ出來マセン

尾崎委員 今迄連帶ト云フモノハ箇様ナ有様デハナカツタノデ、之
ハ意想外デス

清岡委員 不可分ト云フモノニシテ置イテ、然シテ働キ方受方ノ連
帶ト同一ノ方法ニ依テスル理窟ハ如何デスカ

栗塚報告委員 此不可分ハ連帶ニ均シクヤルト云フノデス

清岡委員 ソレテハ不可分ノ効能モナイ様ナモノデ、不可分ニシタ
以上ハ假令性質上ノ場合ニシテモ此通りノ連帯ノ方法ニ依テ、對
抗スルト云フモ如何デス

栗塚報告委員 ソレデヤニ依テ、義務ハ金錢ノ不可分ト云フコソ實
ハ連帯デ、而シテ置イテ中ハ只不可分ト云フノデ、皆カヤツテ居
ロウトモ連帯ト同シ様ニ相殺ハ規定スルト云フノタカラ、義務ト
云フノハ外ノモノデハナイ金錢ノ債務ガト云フ意味ヲ定メタカラ
金錢ノ債務ハトヤツタラ宜イカト思ヒマスガ如何デスカ

清岡委員 不可分トヤツタ以上ハ、之ヲ斯ウ云フトキハ不可分ト云
テモ連帯同様ニスルト云フ斷リ書キナレハマダシモコトダケレト
モ、義務ハ不可分ナルトキ云々トスルト色モ香モナイノデス

松岡委員 併シ不可分ト云フノト連帯ト云フノトハ兄弟デス

清岡委員 ソレハ似タモノニハ相違ナイ

尾崎委員 不可分ノ本性ニ因レル場合ト皆連帯ト同ジテス

南部委員 同ジテアリマス

鶴田委員 ドウモ同シニナツテ仕舞フ

栗塚報告委員 不可分ダカラトテ本性ニ因ルニナレハ之テ同シト云
フ所カラデス

清岡委員 本性ニ因ラサルモノハ總テ不可分デナイ連帯ト云テ仕舞
ヘハ宜シイ

南部委員 法理論バカリテハナイ、實際上互ニ金錢ノ義務カアツテ
不可分ニシヨウト、契約シタ場合ハ本文ニ就テ相殺ヲ行フ所ニ適
用スルカ、連帯テナイ不可分ト云フ場合ニハ此條ハ要用テス

清岡委員 不可分ト云タ以上ハ連帯ノ方法ニ依テ相殺スルコトハ出
來マセント云タカ宜シイ

南部委員 意思ニ因ル不可分ト、本性ニ因ル不可分ト分ケタ効能力

ナクナツテ仕舞フ

松岡委員 取ル方カラ云へハ不可分ニ通スカ宜シイ此所ハ多勢寄テ
貸金ヲ取ラナケレハナラン

清岡委員 ソレ程債務者ニ不利益カアルナレバ、其覺悟デ不可分ニ
シナケレハ宜シイ素ヨリ本性ニ因ラヌモノデ契約上不可分タカラ
連帯ニ向ケ付ケルコトハ悪イ

松岡委員 権利者ハ何ノ難儀ガアルカ

清岡委員 相殺スルナレハ利益カアル、不可分義務デ取テモ拂ハナ
ケレハナラン、利益不利益ト云フコトハ詰リ差引勘定シテモ同シ
タガ併シナカラソソナラ不可分ト云フモノテハナイ

松岡委員 併シ不可分ト云へハ百圓不可分ニシタラ兎モ角モ、百圓
ニ切テナケレハ拂ハヌ、ソレチ二十圓拂フナレハ、八十圓取テモ
違イハナイ

民財七ノ一五

清岡委員 意思ニ因テ不可分ハ連帯ト同シトナツテ居レハ宜シイ、
不可分杯ト酷ク理窟ヲ拵ヘテ置イテ、此場合テ相殺シテ仕舞フト
云フノハ實ニオカシイ、ソソナレハ到底本性ニ因ルモノハ固ヨリ
出来ヌノタカラ、何ト云フコトヤラ生カシタリ殺シタリスル様デ
ス

松岡委員 ソレハ仕方ガアリマスマイ、不可分テ取タモ同シテ、不
可分ノ本質ニ害ハナイ、義務者カラ云フトソウシテ貰ハナケレバ
ナラン

尾崎委員 先ツ宜シウ御座イマシヨウ

鶴田委員 詰リ連帯ト同シタ

委員長 先ヘヤリマシヨウ

本條ハ更ニ修正ノ上提出スルコトニ決ス

第五百四十四條朗讀

第五百四十四條 當事者ノ一方カ地方ノ公市場ニ於テ相場附シタル飲食物ノ給付ヲ他ノ一方ニ對シ定期ニテ負擔シタルトキハ其給付ハ他ノ一方ノ負擔スル金額ト相殺セラル(第千二百九十一條第二項)

(修正) 「地方」ノ上ニ「他ノ一方ニ對シ」ノ七字ヲ挿入シ「給付」ノ上ニ「定期ノ」三字ヲ挿入シ「他ノ一方ニ對シ定期ニテ」ノ十一字ヲ删除ス

栗塚報告委員 本條ハ修正致シマシテ當事者ノ一方ガ他ノ一方ニ對シト云フ字ヲ入レ、定期ノ給付ヲ負擔シタルトキハト致シマシタ、ソレカラ何トカ宜シイ字カナイカト見マシタガ、新聞紙ヲ見マシテモ相場附トアリマス、今日ハ米幾ラ今日ハ醬油幾ラトアリマスカラ相場附ト云フ動調ニシタハオカシイガ、外ニ適當ナ字モ御座イマセンカラデス

民財七ノ一六

松岡委員 附ケルト云フ字ハ何ト云フコトカ、記載ト云フコトデアリマシヨウ

村田委員 相場シタルト云フコトデス

鶴田委員 相場アルデス

清岡委員 以前ノハ物價表トアリマス

栗塚報告委員 以前ノ譯ハ間違イテアリマセ、公衆ニ於テ相場ノ定マル所ト云フノデス

村田委員 相場デ定マル品物デス

松岡委員 相場ノ定マルト書イテハ如何デス

南都委員 定マルガ宜シイデシヨウ

栗塚報告委員 西洋字ニハ動調カ使テアリマスカラ、今日ハ日本鐵道ノ新株ハ幾ラノ高低シテ居ルカト云フノデ幾々ト云フノデス

松岡委員 今日ノ相場ハト云フノデ相場ト云フノハ價ノ定マツタト

云フノデス

委員長 日本ニハ動詞ニハ使ハナイ

松岡委員 相場ノ定マルトデモシテ置コウデハナイカ、市場テ相場ノ定マル品物ト云フ、神田ノ須多町ヘ行クト日々青物ノ相場カ定マルノデス

委員長 之ハ相場附ト云フ字ガ澤山アルカ知ラヌ

栗塚報告委員 諸所ニ澤山アリマス、相場附シタリト書イテ分ラヌコトハアリマセン

南部委員 附ケルト云フ字ノ解シ様デス、殊ニ依ルト相場附シタリト讀ンデ往カヌカラ

渡委員 相場定マルトヤツテハ如何デス

南部委員 ソウ書キマシテモ相場ノ定マル意味ニナリマス

渡委員 相場附ケヨリ宜シイ

松岡委員 相場附ケノ附ケノ字ハ記載スルコトニナリマス

栗塚報告委員 記載スル意味カ宜シイ「ブルズ」デハ今日ノ相場ハ幾ラノ書キ上ケト云フノデス

委員長 箇様ナ字ガナイノハ困リマスネ

鶴田委員 公衆場ニ於テ相場アルト云ヘハ分リマス

栗塚報告委員 定價アルトシテモ宜シイデシヨウ

松岡委員 定價ト云フト往カヌノデス

尾崎委員 相場附テモ宜シイデシヨウ

松岡委員 「附シタル」ハトウモ往カヌ

委員長 分ルコトハ分ル、決シテ間違ハナイ只外見ガ悪イ丈ケテス西洋字ハ一字、此方テハ名詞ヲ付ケテダカラ之ハ商法ニモアルカラ名詞ヲ入レテ動詞ヲ付ケテモ宜シイ、一様ニサヘナレハ宜シイ

松岡委員 凡ソ市場ト云ヘハ元來公衆ノ行クヘキ所デシヨウ

栗塚報告委員 市ハ公衆ノ行クヘキ所デス

村田委員 銘々市ヘ集ツテ競リ賣リスルモ市場デシヨウ

栗塚報告委員 之ハ神田ノ須多町ノ市場、大根川岸ノ大根トカ云フ

モノテアリマス

委員長 大根ヤ葱ヲ買ウノテシヨウ

村田委員 公衆場ヲ宜シイテシヨウ

松岡委員 金銭ヲ預ケル所ハ何ト云フカ

南部委員 市價ト云フカ

松岡委員 ソレナレハ公市價ト云ハナケレハナランデシヨウ、公ノ

字丈ケ制リマシヨウ

清岡委員 制リマシヨウ

栗塚報告委員 害ハアリマセン

清岡委員 飲食物ノコトデス、元老院デ強ク八益敷ク云テ飲食物ヲ

ナイト云フ論モアツタカ飲食物ト云フト日本デハ狭イモノデ、飲

食イ丈ケデス

栗塚報告委員 前ニモアリマシタガ、貸借ノ所ニアリマシタ

清岡委員 氣力付カナカツタノデシヨウ

委員長 飲食物ハ大變八益敷ク言タノテス

清岡委員 飲食物ト云テ新カナイト云フトドウデシヨウ

委員長 第六百二十一條ノトキ論カアツタ

村田委員 第六百二十一條ニハ矢張り「ダンレー」トアリマス

清岡委員 第六百二十一條ニハ有價物トアリマスガ、飲食物ト云フ

ハ論モアリマシタロウ

栗塚報告委員 飲食物トナツテ居リマス

清岡委員 飲食物トシテ炭薪迄通入ツテ居ルト云フハ酷イデハナイ

カ

南部委員 此間議定シタコトヲ云フノデ、定マツテ居ルニハ相違ナ
イ

清岡委員 私杯ハ開落シタカモ知レマセン

鶴田委員 飲食物ト云フト區域ヲ狭ハムルニ至ルカラ、矢張り有價

物トシテ宜シイ

清岡委員 飲食物トシテ炭薪マデ通入ルト云フコトハナイ

鶴田委員 日本テハ飲食物ト云ヘハ炭薪ハ通入ラナイ

委員長 有價物トシテ宜シイカ

南部委員 有價物ト云フト廣過キルデシヨウ

尾崎委員 日用品ト云タラ分リソウナモノデス

松岡委員 之ハドウ云フ場合ヲ云フノカ、市場ノ相場ノ立、日用品

デモ飲食物デ宜シイ

村田委員 貴君カラ金ヲ借りテ居ル者デシヨウ、ソレラハ市場ヘ持

テ行キ、假令ハ生糸デモ酒デモ相場ノ立モノチ上ケ様ト云フノハ
相殺ニナルノデス

松岡委員 ソウ云フコトハ日本ニアロウカ

村田委員 アルト見テ設ケタノタカラ、ナイトハ限ラヌ

松岡委員 日本ニハ如何ナル所ニアリマスカ

村田委員 減多ニハナイタロウカ、併シ一年分ノ金チヤツテ置イテ

新聞ノ様ナモノトカ定期ノ出版モノチ前金チ拂テ、時々送テ貰フ
様ナコトガアル

松岡委員 前金チ拂フモノハアルガ、定期デ幾週間目ニ來ルノデス

村田委員 減多ニハナイガ、決シテナイトハ云ハレマセヌ

委員長 炭薪デモ一ヶ月毎ニ持テ來イト云フ如キハアロウ

鶴田委員 新聞紙ノ前拂トハ違フ、私ガ貴君ニ千圓借りテ居テ、利

息チ拂ハナケレハナランケレトモ、貴君ヘ納メ物チスルカラ始終

差引キシテト云フ如キデシヨウ

松岡委員 ソウ云フモノガアリマシヨウカ

鶴田委員 約束デナクテ、貴君ニ幾ラカノモノヲ納メ、ソレト私ノ

利息ト差引スルコトハアリマシヨウ

委員長 適當ノ例ハ彼ノ肥料取りガ大根ヲ持テ來ル杯ガ宜シイデシ

ヨウ

松岡委員 日用品トスルモ有價物トスルニモセヨ、前ト見合セテシ

ナケレハナラン

委員長 飲食品トバカリ書イテハ具合力悪イデシヨウ「ダンレ」ト

云フ字ガアルカラデシヨウガ、前ニモ論カアツタノテシヨウ

松岡委員 之ハ報告委員ニ任セテ置イテ跡ヲヤリマシヨウ

委員長 ソウ致シマシヨウ

栗塚報告委員 飲食品ハ用收權ノ所デ、五百十四條ニモアリマス、

民財七ノ二〇

又五百五十七條ニハ「消費スルニアラサレハ云々」トアリ、六百
二十一條ハ元來ナイ字ヲ加ヘテ拵ヘタノデ、飲食品ト直シタカ又
有價物ト直タノテアリマス

委員長 此字ハ「ダンレ」ト云フ字ハドウ云フ字ニ使ヒ分ケガ出
來ルカ、民法ノ買クコトヲ翻譯局ヲ定メルトシテ宜シイ

栗塚報告委員 今論シテ居ル所ハ薪モ運入ラナケレハナランノデス

清岡委員 第五百十四條「消費スルニアラサレハ云々」ハ數ヲ集メ
テアルカラ宜シイガ此所ハ何ノ飲食物カ

栗塚報告委員 此所丈ハ註ニハ小作人カ兼テ家賃ヲ拂フコトヤ、米
ノ部類、薪、油、玉子等トアリマスカラシテ、消費物トモシテハ

如何デス

村田委員 物ニ消費スルモノトスヘカラサルモノトアリマス

栗塚報告委員 米、麥、玉子、薪カ運入丈ケ困ルノデス

松岡委員 人參モ大根モ適入ラナケレハナランゼ

委員長 消費スヘキ日用品トテモシタラ宜シイテシヨウ

栗塚報告委員 日用消費物トテモシヨウカ

渡委員 其位カ宜シイテシヨウ

委員長 先ツ之ハ跡テ直スコトニシテ先ヘヤリマシヨウ

本條ハ「飲食物」三字ハ再調スルコトトシ未定其他ハ報告委員
ノ修正ニ決ス

第五百四十五條朗讀ス

第五百四十五條 債務ノ成立其本性及ヒ其分量カ確實ナルトキハ
其債務カ善意ニテ争ハル、トキト雖モ債務ハ明確ナリ

〔修正〕 「本性」ノ上「目的」三字ヲ挿入シ「分量」ノ上
「其」ノ一字ヲ刪リ「善意」ノ上「カ」ヲ「ハ」ニ改メ「明確
」ノ上「債務ハ」ノ三字ヲ刪ル

栗塚報告委員 本條修正致シマシテ、債務ノ成立其目的ノ本性ト致
シマシタ、理窟ヲ推スト債務ノ本性デハナイ債務ノ目的ノ本性デ
説キ明シニハ始終目的物ノ本性ト云テ居リマス、依テ其目的ノ本
性及ヒ分量トシテ、此分量ト云フモ債務ノ分量テハナイ目的物ノ
分量テアリマスカラ「目的」ト云フ字ヲ加ヘテ、本性及ヒ分量
トシテ「其」ノ字ヲ刪リ、ソレカラ「確實ナルトキ其債務ハ善意
ニテ争ハル、トキト雖モ明確ナリ」ト改メマシタ

清岡委員 争ハル、トキト雖モ明確ナリト云フハ分ラヌ文章デス、
訴訟テ争テ居テモ分ラヌトハ云ヘヌ、明確ナルモノダト云フノデ
スカ

栗塚報告委員 併シ元來明確デアルカラデス

清岡委員 争テ居テハ分ラヌ様ニ見ヘルガ、ソウテハナイト云フノ
デス

栗塚報告委員 左様デス

尾崎委員 宜シウ御座イマス

松岡委員 假令向ウハ訴訟ノ上議論チヤロウトモ、テスカ

南部委員 左様デス

栗塚報告委員 詰リ當事者ノ不知ニテモ當然行ハル、ト云タ位ダカ

ラ、當事者ガ争テ居テモ構ヒハシマセヌ

松岡委員 分リ悪イ文章デス

南部委員 裁判上ノ相殺ノ所チ見ルト争ハル、ハ能ク分リマス

委員長 宜ケレハ是テ食事ニ致シマシヨウ

本條ハ報告委員ノ修正ニ決ス

于時零時十分休憩

午後第一時二十分開會ス

委員長 始ノマシヨウ

第五百四十六條朗讀ス

第五百四十六條 裁判所ノ許與シタル恩惠上ノ期限ハ相殺ニ妨チ

爲サス債務者ノ請求ニ因リ債權者ノ恩惠ニテ許與シタル期限ニ

付テモ亦同シ一第千二百九十二條伊民第千二百八十八條一

若シ二箇ノ債務ノ一カ解除ノ條件付ナルトキト雖モ相殺ハ成ル

但未必ノ解除チ妨ケス

栗塚報告委員 一項ノ恩惠ノ期限ト云フハ、前ニ丁度此表チ申シテ

アリマスカラ此方カーツテ宜シイ位テスカ、第四百二十七條ノ第

四ノ若シ債務者カ適法云々トアリマスカラ、ソレチ此所ヘ持テ來

タノデアリマス

松岡委員 妨ケステハ往カヌノテスカ、成ラスト云フ字ハ必要デス

カ

栗塚報告委員 妨ダスデモ宜シイノデス

松岡委員 先ツ通例ハ何ヤチ妨ケスデス、ソレカラ債務者ノ請求ニ依リト云フ字ハ云ハナケレハナランモノナレバ、頭ノ方へ入レテハ如何デス

栗塚報告委員 頭マデハ往カヌ、期限ニ付テモ亦同シテス

松岡委員 與ヘルノハ裁判所デ與へ、債務者ノ請求ハ何レデモデシヨウ

栗塚報告委員 此ニ書イタ債務者ノ請求ニ依ルト云フノハ債務者カラ債務者ニ頼テデス

松岡委員 上へ入ラヌトナレハ實ハ下ノ所ハ割テモ宜シイ、請求ノナイニ給與ト云フコトハナイ、裁判所ノ給與ハ請求ヲ待タヌ様デス

南都委員 債權者ノ恩惠ニテ給與シト精ハシク云フノデス

松岡委員 誠ニ無款ナ所デス、字チ丁寧ニ書キ付テ却テ往カヌノデ

ス

清岡委員 請求ニ依テ與ヘルトキハ、裁判所ノ與ヘナイトキトアル

松岡委員 請求ノナイニ裁判所テ與ヘルコトハ出来マセン

栗塚報告委員 ソレハ前ニ恩惠ノ期限ハ何ウ云フトキニ與フルト云タカラ宜サソウナモノデス

松岡委員 斯ウ云フモノヲ書クノハ悪イ

栗塚報告委員 此ニ云テ居ル所ヲ見ルト、第四百二十六條ヲ讀實ナル損害ヲ受ケサルヘキトキハ、裁判所ハ債務者ニ相應ノ恩惠上ノ期間ヲ許スコトヲ得ト云テ居ルカラ、條件ト看做シテ居ルノデ、第四百二十六條ヲ見ルト分リマス、依テ必ラスシモ請求ノアル場合カ多イニ違ヒナイ、ソレカーノ條件ニナツテハ居リマセヌ、結局債務者ノ請求ニ依ルト云ハヌテモ宜シイ、裁判所カラダト請求ノアルトナイトニ拘ハラヌ、裁判所ハ給與ノ權ヲ持テ居ルト見テ

宜シイテシヨウ

松岡委員 實ハ入ラヌコトデ、請求カナクシテ恩惠ニテ給與スルト云ヘハモウ宜シイ

鶴田委員 アツテモ害ハナイ

松岡委員 害ハナイガ、法律上期限カラ云フト要ラヌコトテス

南都委員 併シ要件ニナツテ届リマス

松岡委員 請求ナクシテ恩惠ト云フコトガ起ルカ

栗塚報告委員 強ク維持ハ致シマセヌガ、置イテモ置カヌテモ同シコトデ、害ハアリマセヌ

鶴田委員 無クテモ済ムト云フ位ナモノデ、次ニ解除ノ相殺シテソレカラ解除ヲ妨ケヌ位デス

栗塚報告委員 私カ貴君ニ物ヲ約定シテ置イテ、若シヤ貴君カ今年立身シタラ、其金ヲ只ヤル併シ今ハ貸テ置クゾヨ、跡テ金カ出来

民財七ノ二四

タラヤルト云フ解除付ノ條件デ、私ハ貸ス苦勞ハナクナルノデ、解除付ノ條件付テ借テ居ル、又一ツ私カ貴君ニ貸テアル金ハ、當リ前單純ナモノデ、ソレト相殺ガ出来ルト云フノデス

鶴田委員 期限ノ來ナイ前ニ相殺スルノデスカ

栗塚報告委員 左様デス

委員長 未必解除ヲ妨ケスト云フハ取レナカツタラ又元トヘ戻スト云フノデスカ

栗塚報告委員 左様デス、之ハ道理ハアリマス

鶴田委員 道理ハアリマス

栗塚報告委員 人民彼我ノ交際カ繁多デナイ世ノ中ナレハ解除ト云フ想像モ出ス、法律カラ云フト佛蘭西ニモ書イテナイ、伊太利ニモナイ、學者ノ論デハ箇様ナコトモアルノデ、誰モ斯ウ云フコトチャル人ハアリマスマイ

鶴田委員 之ハ妙ナ所デシヨウ

委員長 先ヘヤリマシヨウ

本條ハ原案ニ決ス

第五百四十七條朗讀ス

第五百四十七條 若シ二個ノ債務カ同一ノ場所ニ於テ又ハ同一ノ貨幣ヲ以テ辨済スヘキモノニアラサルトキト雖モ尙ホ相殺ハ成ル但初ノ場合ニ於テハ貨幣ノ運送費用又ハ爲換料ヲ計算シ次ノ場合ニ於テハ貨幣ノ兩替貨ヲ計算スルコトヲ要ス(第一千二百九十六條)

(修正) 「運送」ノ上「貨幣」ノ三字及「兩替」ノ上「貨幣」ノ三字ヲ刪ル

栗塚報告委員 本條ヲ修正シマシタノハ「初ノ場合ニ於テハ運送費用又ハ云々」トシテ「貨幣」ノ三字ヲ刪リマシタ、ソレカラ「

次ノ場合ニ於テ云々」トアルモ「貨幣」ノ三字ヲ刪リマシタ是レハ獨リ貨幣ノミナラス元來相殺ハ米十俵ト十俵トノ場合ガアリ其トキ運送ハ罷ノ様ト云フコトモアル、獨リ貨幣運送ノミナラス最モ相殺ハ貨幣カ多イデシヨウガ、相殺ハ金ハカリテナイト云テ居リマス、互ニ代補シ得ヘキモノテス

鶴田委員 此所ハ併シ貨幣ノミデシヨウ

南部委員 又カラ上チ御覽ナスツテ下サイ

栗塚報告委員 同一ノ場所ニ於テ辨済スヘキニアラサレハ貨幣ハカリテナイカラ運送費用トサヘ云ヘハ、何方ニモ當ルカラ佛蘭西デハ貨幣ノトハアリマセン、引渡ノ費用トアリマス、引渡ノ費用ヲ計算ストアルノデス

松岡委員 併シ初ノニハ同一ノ場所ト云フコトテ、ソウスルト其時分爲替料ハ如何デスカ

南部委員 辨済スルトキニアラサルトキハテス

清岡委員 起案者ノ旨意ハ貨幣ニ限テ居ル積リデシヨウ

栗塚報告委員 左様デス

清岡委員 貨幣ヲ制ルト如何テスカ

栗塚報告委員 制テモ運送費用ニナルノデス

清岡委員 制レハ何テモ導入ルテシヨウ

栗塚報告委員 左様

清岡委員 ケレトモ貨幣ニ限テ貨幣ノ費用トシタト云フ安排ニ見ハ

センカ

南部委員 貨幣ノ運送費ト云フ貨幣支ケノ運送費ニナツテ仕舞フ、

ソレデハ米ノ運送ノトキハ困リマス米ト米ノ勘定ノトキ困リマシ
ヨウ、一方ハ東京デ渡ソウ、一方ハ長崎デ渡ソウト云フトキ、長

崎デ相殺スルト長崎マデ運フ費用ヲ相殺シナケレハナラン

清岡委員 ケレトモ別段ニ論シテ居リマス

栗塚報告委員 今日ハ銀行トカ郵便局カ出来タカラ金ノ運送ト云フ

コトハアリマスマイ、金チヤリ取りスルノハ云フニ及フマイ

鶴田委員 運送貨ダノ、兩替貨杯ハ云ハス、其所ノ相場デ宜サソウ

ナモノデス、送レハ運送貨ガアルガ相殺ハ送ラスニスルノテスカ

ラネ

南部委員 送ルヘキチ送ラヌデ、相殺スルノダカラ送ルヘキ費用チ

差引カナケレハナラン

鶴田委員 運送費支ケ所ノ相場テ宜サソウナモノデス

南部委員 相殺ノ爲メニ得チスル様ニナリマシヨウ

村田委員 送タノテシヨウ

鶴田委員 送テハ相殺ニナラヌ、送ラヌノデス

村田委員 長崎ト東京トデ二人アル、貴君ハ東京、南部サンハ長崎

貴君ハ東京ヲ拂ヒ、南部サンハ長崎ヲ拂フト云フ場合ニ、南部サンハ東京ヘ出テ來ルノデ、土産ニ買テウト云テモ、金カアルカラ取リニ行クト御前ニ貸シガアルカラ相殺スルト云フト、又長崎カラ金ヲ取リ寄セナケレハナラン

綿田委員 私ハソウ云フ場合デハナイカト思ヒマス

村田委員 ソウ云フ場合デス

南部委員 東京デ差引ト云フノデス

綿田委員 私ハ相殺ハソウ云フモノデハナイト思フ、相殺後ニ生スル運賃ト思フ、左様ナルト相殺ノ運賃デナク、相殺ノ爲ノ金ヲ取リ寄セルノタカラ相殺ノ内カラ宜シイ

南部委員 品物ノ値段ヲ御覽ニナルト分リマス、東京ト長崎トハ買フ値段カ違フカラ、金ヲ云ヘハ東京ノ品ト、長崎ノ品トハ違フカラ其トキニ云フ語テス

村田委員 金ナレハ差ガアルカラ其差ヲ拂ハナケレハナラン

委員長 此所ノ繰開ハ何モ儲モ貨幣ト見タコトハオカシクハナイカ

栗塚報告委員 運送費用又ハ爲替料ト云フノデス

委員長 金ト、金デナイモノガアロウ

栗塚報告委員 貨幣ト云フハ種カナラヌ、併シ穀物テモ相殺カ出來ルノデスカラ

委員長 兩替ハ金ノ兩替トシタ方カ宜シイタロウ、併一ボアソナードレカ貨幣ト云フ積リテ買タナレハ、畢竟物ヲ與ヘ金ヲ積ルモノト云フ旨意タロウガ、ソレテハ通用センデ、ソウ云フ旨意ナレハ一方ハ物ノ種類ニシテ、一方チ金ノ種類ニシテ宜カロウ

栗塚報告委員 金圓ニ係ルトキハ何トカ義務辨濟ノ所デ貨幣ヲ示シテヤルト云フコトガアリマシタ、第四百九十五條ニ若シ債務ガ金圓ニ係ルトキハ提供ハ實物即チ貨幣ノ提示ニテ、之ヲ爲スコトヲ

要ス、トヤリマシタカラ、貨幣ト譯セヌコトハアリマセン

渡委員 註釋ニハ貨幣ノコトハ見ヘナイ

栗塚報告委員 説キ明シハ始終貨幣ヲ説キ明シテ居リマス

村田委員 英文ニハ殘ラス金ト云テアリマス

委員長 此所デハ丸デ金バカリト云テハ餘程困ルデシヨウ、外ノ品物ハ出來マセヌト云フナレハ兎モ角モ、米ヤ麥カヤラレルナレハ金バカリト云フテハ困リマス

南部委員 詰リ品物ヲ運送スル時分利益アルニ運送セズ相殺シテ仕舞フカラ爲ノニ利益ヲ失フコトナク、ソレ丈ケノ違ヒカアリマス
鶴田委員 長崎マテ運送スルト、高クナル安ク相殺サレテハ困ルカラ、運賃丈ケハ相殺シテ呉レト云フ運賃ハアルケレトモ、長崎ノ相場デヤツテ呉レト云フノデ、相殺シタラ足りナクナル、依テ取リ寄セナケレハナラン、其運賃ヲ呉レト云フノデ、ソナナ馬鹿ナ

コトハナイ

委員長 長崎デシヨウト云フトキ、東京ノ人カ長崎ヘ持テ行クナレハ此方ニ來テ居ルモ長崎マデ運テスルカ、又金ヲ使フト思タ爲ノニ何ゾ目的ヲ付ケナケレハナラン、何方モ費サナケレハナラン相殺スレハ濟ムケレトモ自分ハ金ヲ貰タラ直ク用ニナルカラ宜カリソウナモノデ、私ガ長崎カラ取寄セル丈ケノ金ヲ相殺スル以上ハ爲替料ヲモ出シテ呉レト云フノハドウモオカシイ話デス
鶴田委員 ソウスルト利息ヲト云フカモ知レマセヌ

尾崎委員 私ハ長崎デ貴君ニ貸付タノデ、貴君ハ東京ニ買物カアルカラ、尾崎カラ金ヲ取テ買物シヨウト思テ、取り付ケニ來タ所デ成程返ス期限ガ來タガ、御前ニ長崎ニ於ケルモノモ期限カ來テ居ルカラ返セ之ハ相殺シヨウト云フトシナケレハナラン、併シ取り付ケ様ト云フ者ハ相殺ダカラ、長崎カラ取寄セル金ノ貸ヲ呉レト

云フノデス

鶴田委員 ソレハ具合カ悪イ、相殺外ノ話デス、相殺外ニ起タモノ
ヲ吳レト云フニ當リマス

渡委員 東京テ渡スヘキモノヲ、長崎テ渡スコトモ出来ルガ、金ハ
ソウハ往カヌ

鶴田委員 持テ行テスルナレハ相殺テハナイケレトモ、煙草ヲ買テ
アルカラ長崎ノ相場ヲヤリマシヨウト云フノデ、東京相場ヲヤラ
レテハ損ガ行クカラデス

村田委員 爲替ヲ組ンタノデハナイ

鶴田委員 爲替ヲ組マヌデハ金ハ送レヌテシヨウ

村田委員 東京ヘ持テ出テ來タノデス

栗塚報告委員 爲替ヲ組ンダト看做シテデス

村田委員 私カ長崎テ渡セハ宜シイノテスガ、持テ來タノダカラ運

賃ヲ取テ宜シイ

清岡委員 ソンナ六ヶ敷イ理窟ヲ云フヨリモ、私ノ借タ金ヲ假令ハ

鶴田サンニ借り、其金ハ鶴田サンノ肥前ノ家テ返ヘシ、私ノ貸シ
タ金ハ此所テ受取ルトキデス、此所テ受渡チスルト肥前ヘ持テ行
クヘキ金ヲ此所テ突付ケテヤリ取りチスルコトハ出来マセヌ肥前
ヘ持テ行クヘキ義務ヲ持テ居レハ、肥前ヘ持テ行カヌ丈ケノ費用
ハ鶴田サンニシテヤラナケレハナラン

栗塚報告委員 ソウ云フコトデス、最初ノ場合ハ運送ノ費用ト云フ
ハ引渡ノ運送費用ト又ハ爲替料デス

委員長 何ノ運送費用カ

栗塚報告委員 何デモ代補物即チ相殺ノ出来ルモノデス

委員長 ソレハ分ラヌデシヨウ

栗塚報告委員 明確ナルモノ、要求シ得ヘキモノト云テ居リマスカ

ラ、代補シ得ヘキモノハ相殺カ出來ルカラ、米モ運入リマス

渡委員 之ハ起案者ニ質シテ見テハ如何デス或ハ譯字ガ怪シクハナイカ、之ハ金ニ限テ居ルト見レバ其方ニ引付ケルカラ宜シイガ若シ二箇ノ債務同一ノ場所ト云フト金バカリデハナイ、品物モアロウ代補物モアルト云フト、全部ハ運送費用デ済マスコトニハアリマセン、起案ノ旨意ハ物品モアリ、金モアリ、二箇ノ債務ノ例ノ分ハ同一ノ金テナイト云フハ、譯字カ多少變ツテナケレハナランデシヨウ

南部委員 ソレナレハソレテ宜シイ、報告委員ニ於テ運送ノ費用ハ決シテ二箇ノ債務金バカリテハナイト云フノハ既ニ此佛蘭西ノ成文ヲ見テモ金額ト云フコトハ御座イマセヌ、又註釋ニ依テ見テモ矢張り金額又ハ物件ト云フ字モアリ、然シテ見ルト二箇ノ債務ハ貨幣バカリデハナイト云フノテアリマシタ

民財七ノ三〇

委員長 佛蘭西ノ法律ニ依レハソウテスカ、「ボアソナード」ノ起案ニハ金銀ト云フノカアリマス

南部委員 只「ボアソナード」ノ旨意ハ貨幣トアリマシテ、貨幣バカリニシテハ狭クナツテ、不都合ト云フノデ修正致シマシタ

委員長 ソレナレハ實物トカ何トカシテ仕舞フカ

栗塚報告委員 若シ二箇ノ債務ガ同一ノ場所デ、辨済スヘキニアラサレハ運送費用ヲ計算スルニアラサレハ、相殺ヲ對抗スルヲ得スト、佛蘭西ノ第千二百九十六條デアリマス、此條カラ見ルト貨幣ト云フ字ハナイ、去リトテ代補物ト云フ字カアルカナレハ是レ又ナイノデス

委員長 ソウナレハ報告委員ハ必ラス金ノ爲替ニ相違ナイト見タノデスカ

栗塚報告委員 此所ハソレニ相違御座イマセン

委員長 決シテ金バカリテハナイ、他ニ移シタモノ、費用モアロウ
ト思ヒマス

栗塚報告委員 此條ハ御預リニシテ置キマシテ間フテ見マシヨウ、
爲替ト云ヘバ金バカリテナケレハナランカラ貨幣ノミカト云フテ
間ヒチカケテ見マシヨウ

委員長 ソレテハ先ヘヤリマシヨウ

本條ハ起案者ニ質問スルコトトシ未定

第五百四十八條朗讀ス

第五百四十八條 左ノ場合ニ於テハ法律上ノ相殺成ラス

第一 債務ノ一カ他人ノ財産ノ不正ナル得有ヲ原由トスルトキ
（第一千二百九十三條第一號）

第二 變例ト稱セラレタル寄託物ノ返還ニ關スルトキ（第一千二
百九十三條第二號）

民財七ノ三一

第三 債權ノ一カ債權者ニ對シテ差押フルコトヲ得サル有價物
ヲ目的トスルトキ（第一千二百九十三條第三號）

第四 當事者中ノ一方ガ譲ノ相殺ノ利益ヲ拋棄シタルトキ又ハ
當事者中ノ一方ガ債權者ト爲ルニ當リ企圖シタル目的カ相殺
ヲ以テ達セラレサルトキ（伊民第一千二百八十九條第四號）
（修正） 第三號「債權者ニ對シテ」ノ七字ヲ刪ル第四號「爲
ルニ當リ」ヲ「爲リテ」ト改メ「相殺ヲ以テ」ヲ「相殺ノ爲
メ」ト改ム

栗塚報告委員 本條ハ修正致シマシテ第三ノ所ハ「債權者ニ對シテ
」ト云フコトハ刪リマシタ

清岡委員 債權者ニ對シテ差押フルト云フノハ畢竟債務者ニ對シテ
ト見ヘル様ニナリハセンカト云フノテシヨウ、債權者ノ債權者デ
シヨウ

栗塚報告委員 詰り債権者デアリマス

南部委員 ニツアル一ノ債権者ト云フノデシヨウ

栗塚報告委員 兎モ角モ差押フヘカラサルモノト云フノデ、之ハ相

殺タカラ云タノデス

鶴田委員 債権者ニ對シテ差押フルト云フコトハ云ヘル言葉デハナ

イガ、相殺ダカラ云フノテ、矢張債務者テス

松岡委員 爾テ宜シイ、アツテハ邪魔ニナリマス

栗塚報告委員 第四ノ所ハ「當事者ノ一方ガ豫メノ相殺ノ利益ヲ拋棄

シ、又ハ當事者中一方ガ債権者ト爲リテ」ト致シマシタソレカラ

「相殺ヲ以テ」トアルハ「相殺ノ爲メ」トシマシタ

清岡委員 第一ハ如何デス

栗塚報告委員 貴君ノ物ヲ盜メバ返サナケレハナラヌ義務ガアル、

貴君ノ一方ハ貸テ居ル、私ハ盜ンテ返サナケレハナラン義務ガア

ル併シ盜ンテ居ルカラ返サナケレハナラント云フトキ、相殺ハ出
來ヌ、私ノ債務ハ貴君ニ返サレヌ債務者貴君ハ私ニ返サナケレハ
ナランスルト私ノ債務ハ貴君ノ財産ヲ不正ニシテ取タノテ盜ンタ
カラ返サナケレハナランノダカラ、盜ンタ原因テアレバ其トキハ
相殺ハ出來マセヌト云フノデアリマス
清岡委員 他人ト云フハオカシイデハナイカ、一方ハ純然タル債務
一方ハ不正ト云フノデ之ハ相殺ハ出來ヌト云フノデシヨウ

栗塚報告委員 左様デス

南部委員 詰り金ヲ返サヌカラ向ウノモノヲ取テ來テソウシテ相殺

シヨウト云フ様ニ見ヘル

栗塚報告委員 佛蘭西ハ所有者ガ人ニ取ラレタモノヲ取戻スト云フ
ト、相手方ガ御前ニ貸金ガアルト云フコトハ出來マセヌト云フ意

味デアリマス

尾崎委員 ソレナレハ分ル

鶴田委員 「不正ナル得有ヲ以テ債務ノ相殺ヲ爲スコトヲ得ス」ト云タラ宜シイテシヨウ

栗塚報告委員 ソウデス、併シ財産ノ得取ト云フコトハナケレハナラン

鶴田委員 財産ノ得取トヤツテモ宜シイ

栗塚報告委員 他ノ人ノ物ヲ取テ置イテ、取り戻サル、トキ差引勘定ハ出来マセヌソヨトアルノデ、人ノ物ヲ取タニ依テ義務カ生シタ、スルト其義務ハ相殺ハ出来ヌソヨト云フノテス

鶴田委員 不正ノ債務ヲ以テ真正ノ債務ニ相殺ハ出来マセヌト云フノダカラ此書方テハ往カヌ、他人ト云フ字ヲ刪テ「債務ノ一カ財産不正ニアル得取ニ原由スルトキハ」トシテハ如何

栗塚報告委員 不正ノ財産ヲ得取スルト云フハ人ノ物ヲ盗ンタノト

云フ考ヘダロウガ、サシ見悪ウハ御座イマセンカ、人ノ物ヲ取ルト云フコトハナイトハ云ヘヌ

鶴田委員 二號ニ債務其一ガ財産ノ不正ナル得取ニ原由シテ、私ニ付ケタ債務ハ泥坊デ他人ト云フハ二人ノ外ノ者カアル様ニ見ヘテ具合力悪イ

尾崎委員 鶴田サント私トニ債務カアル、私ハ君ノ所有物ヲ取テ來テ、私ノ所有物ト云フ其折ニ御前ニ貸ガアルカラ之ヲ相殺シヨウト云フノデシヨウ

鶴田委員 ソウデス

栗塚報告委員 何所ニモ間々アリマスガ、貸タ金ハ幾ラ催促シテモ返サヌカラ火鉢ヲ取テ來タト云フコトガアル、火鉢ヲ取タハ盗人ノ所爲デ、不正ヲ取タノダカラ、ソレハ相殺ハ出来マセヌゾト云フノデス

南部委員 ソレヲ防ク爲メテス

尾崎委員 理由ハ分ル

鶴田委員 不正ナル得取ヨリ生スル債務ヲ相殺テ拂フコトハ出来マセスト云フノダ

渡委員 元來人ノ物ヲ取テ債務ト云フノカ具合力悪イノデス

南部委員 ソレハ犯罪カラ生シタ債務デス

清岡委員 他人ハ相殺スルトキノ債權者デスカ

栗塚報告委員 左様デス、雖々他人ト云フハ餘所ノ人ノ物ヲ取タ爲

ノニ義務ヲ負フタ、其義務ヲ消スニ此方ニモ資金カアルソヨト云フコトハ出来マセスト云フノデス

尾崎委員 理窟ハ分テ居リマス

清岡委員 變例ノ寄託物デスカ

栗塚報告委員 唯ノ寄託ハ貴君ノ使用スルコトハ出来マセヌノテス

私カ貴君ニ金ヲ十圓預ケレハ之ハ使フコトハ出来マセヌ、所ガ變

例トカ不規則トカ云フ寄託ハ貴君カ使テモ宜シイノデス

清岡委員 融通使用ヲ許シタノデスカ

栗塚報告委員 左様デス

鶴田委員 請求ハ無論出来ヌノデシヨウ

栗塚報告委員 出来ル様ニ見ヘルダロウ、カソウ云フノテハナイ元來寄託物其物ハ悉皆返ス義務ダカラ當リ前ノ貸借カラ看做シテハ

ナラヌト云フ、ソコカラ出タノテアリマス

清岡委員 日本ノ現行トハ丸テ違ヒマス、現行テハ資金ト同様ニナルカラ即チ相殺ガ出来ルノデス

尾崎委員 ソウテス

南部委員 最モ只ノ資金ト同視スル預金ハ別段寄託ノ實カナケレハ

日本ニ云フ預ケ金トハ餘程違ヒマス

清岡委員 融通使用ヲ許シタ預ケ金ハ仕様ハナイデシヨウ

松岡委員 此所ハ變ハラヌノデシヨウ

南部委員 日本ノ預ケ金ハ、貸金ト書ク所ヲ預ケ金ト書クトキモア

リマス

松岡委員 ソレモアリマスガ、此所デ云フノハ流通使用ヲ許シテモ

構ハヌカ、苟モ人ノ物ヲ預カルト云フ人間ハ差引杯ト云フ心持ハ

ナイ、ダカラ預ル人ハ精算ニ返サナケレハナラント云フノデス

栗塚報告委員 仰セノ通りテアリマス、差引ト云ヘハ貸借テアリマ

スカラ預カツテ差引スルソヨト云フコトハ昔ハヌソヨト云フコト

デス

鶴田委員 變例ト稱スル使用ヲ許シタノハ預ケ金テハナイ

栗塚報告委員 變例ト稱スルハ貴君カラ金貨チ百圓預ツテ、チヤン

ト封印シテ取テ置クカ當リ前テ、ソレチセスニ御返シ申ストキハ

貴君ノ持テ來タ金額デナク、外ノ金貨チ上ケルコトヲ預ケ金ハデ
ス

鶴田委員 若シ金額チ預ケテ利息付ノ預ケ金ハ差引コトカ出來マセ
ンカ

栗塚報告委員 ソレハ寄托テハアリマセヌ

南部委員 ソレハ貸金デアリマス、寄托ノ所ヘ行クト分リマス

栗塚報告委員 寄托使用ノ所ヘ行クト出ルノテス、兎モ角モ變例ト

稱スル寄托ハ預ツタ金其モノチ出スニハ及ハヌ、外ノモノニテト

云フコトデス

尾崎委員 ソレチ推シ詰ルト融通使用ヲ許シタモノトナルノデス

松岡委員 全體吾々ハ氣力付カナカツタノデ法律上相殺ト云フノハ

成立タ日カラ、双方合意ニ因テ見ヘテ居ルト云フコトデス

栗塚報告委員 當事者ノ不知ニテ當然行ハル、ハ法律上相殺テアリ

マス

松岡委員 吾々ノ屬體ニハ相殺ヲヤルトキハ突合セテ相殺ト心得テ
屠タノデ(ボアソナード)ノ云フ佛蘭西流義ニ、相殺ハ債務ノ性
質ニ因テ三年前カラ之ハ相殺ノ出來タモノト法律上相殺ト見ルノ
ダ、ソレテ此所テハ法律上ノ相殺ト看做シタト云フノデスカ

栗塚報告委員 ソウテス

清岡委員 雙例ト稱セラレタルハドウデスカ

松岡委員 雙例ト稱ステ宜シイ

栗塚報告委員 原由ト云フ所チ氣ヲ付ケレハ分リマス、第一第二ハ
之テ御置キナスツテ下サイ

委員長 債務カニツアル、一ツハ他人ノ不正ナル得有タカラ贓品チ
備リテ來タモノカ何カチ以テ相殺シヨウト掛ルノダロウ、他人ト
云フハ貴方ガ尾崎サンノモノチ持テ來テモ、貴方カ承知シヨウハ

アルマイ

松岡委員 私ノ財産チ貴君カ不正ニ取テ御座ルト貴君ハ戻サナケレ
ハナラン

栗塚報告委員 債務カ生シテ屠ルノテシヨウ不正ノ財産チ得有シタ
カラツテモ法律カ禁シテ屠ル物チ取テ貸金カアルカラ相殺シヨウ
ト云テモ往カヌノデス

委員長 他人ト云フチ強ク見テハ往カヌ

尾崎委員 債權者ト債務者ト云フノハ他人ノ人ノ様ニ讀ムルノテス
栗塚報告委員 御無禮デスカ、貴君カ他人ノ物チ取タノデ、取タ人
ハ返ス義務カアルノテシヨウ、其義務チ貴君ガ物チ還シテ呉レト
云タトキ、否ヤ御前ニ貸金カアルソヨト云フコトカ出來ヌノデス
ソレ故他人ト云フ方カ宜シイノデス

清岡委員 貴君ハ私カ物チ還ソウト云フトキ、私カ今相殺スルモノ

ガアル、所カ貴君へ私カ言フニ御前ハ私ニ還セト言フガ、私ノ借
リテ居ル物ハ他人ノ財産ヲ不正ノ得有シタモノタカラ、還サヌト
云フコトモ言ヘル様ニ思ル、

栗塚報告委員 ソレテハ債務ノ理由ニナツテ居リマセン
委員長 ソレ故變例ト稱スガ分ラヌ

栗塚報告委員 何レ寄托ノ所デ申シマスガ、貴君ノ金デナケレハナ
ラン、金チ千圓預ツタ寄托シタ所ガ、當リ前ハ以前ノ借封被ノ借
還サナケレハナラン、變例ト稱スルノハ其受取タ金チ使テモ、同
シク金チ千圓還セハ宜シイ、併シ預ツタ物ハ仕拂テ仕舞テモ問ハ
ヌト云フノデ、之チ名付ケテ變例ト稱スルノテス、ソレカラ第四
ハ餘程六ケ數イノデス

委員長 之レモ分テハ居ル積リデスガ、債權者トナルニ至ルハ以前
ノ方カ宜シイカモ知レヌト思フ

民財七ノ三七

南部委員 「相殺チ以テ還セラレサルトキ」トアルハ「相殺ノ爲ノ
還セラレサルトキ」トシタ方ガ宜シウ御座イマシヨウ

委員長 ソレハ「爲ノ」ノ方カ宜シイ

松岡委員 代理シテ金チ出シタ人ハ別段ノコトテ債權者トナツタ其
人ハ前ノ依托サレタ金ト自分ノ債權ト云フノチ以テ相殺スルコト
ハ出来ヌト云フノデスカ

村田委員 時計チ買タイト云テ金チ持タシテヤツタガソレハ債權者
ナレハ私ハ時計チ買フコトハ出来マセヌノデス

委員長 此物ト云テ約束シテ還ストキハ米ナレハ米チ還シテ呉レト
云フハ米ハ何ソシヨウト云フ目的カアツタノダソレチ差引ト云テ
モ往カヌノデシヨウ

南部委員 ソレハ寄托物ニ通入ルカラ無論ナリマセン

栗塚報告委員 今ノ仰セハ寄托物デアリマス

委員長 金ナレハ金ヲ貸テ御前ノ所ノ米ヲ以テ還セト契約シタノデ
米ハ賣ル目的タロウ米ヲ取タラ今年中ノ食料ニシヨウト思テ居タ
ノデ、ソレヲ今度金ヲ借リタ爲メニ差引シヨウト云フトキ、ソレ
ハ往カヌ、米ヲ還スト云フカラ貸タノデソレヲ以テ差引サレテハ
困ルト云フノテス

村田委員 一方ガ債權者ニナルノデス

委員長 債權者トナルニ至ルノデス

村田委員 ナツテ見ルト目的カ違セラレナイ栗塚君カラ時計ヲ買フ

ト云テ百圓買テ次ニ私カ馬ヲ賣テ上ケテソレト差引シヨウト云フ
トソレハ往カヌノデ目的カ違セラレナイカラデス

南都委員 相殺ノ成ルニ於テハ目的カ違セラレヌシテハ

栗塚報告委員 ソウテス相殺ノ成ルニ於テハ爲メニ企圖シタル目的
カ違シ得サルトキト云フ意味テアリマス

松岡委員 此所テ云フ債權者ト云フハ向ウノ人ノ目的デス

委員長 債務者ノ目的デスカ

栗塚報告委員 債權者テ宜シイ貴君カ栗塚ニ横濱へ行クナレハ時計
ヲ買テ來テ呉レト云テ、私ハ債務者デアリマス、百圓ト云フ金ヲ
借リタモ同様デス、然ルニ何かテ私カ貴君ノ爲メニ立替ヘタ金カ
アツタノデス、ソレテ時計ヲ買フ前ニ書物ヲ御賣リ申シ貴君カラ
百圓ノ取ル金カアル然ルニ豫テノ百圓ノ時計ヲ買フ代價ハ本ノ代
ト相殺シヨウト云フ、箇様ナコトニナツテハ最初ノ貴君ノ目的ハ
相殺ノ爲メニ違セラレナイカラデス

委員長 ソレナラ債務者ノ目的テナイ

栗塚報告委員 ソウデス

委員長 「ナルニ當リ」トシテ實ヒタイ

清岡委員 私ハ此方カ宜シイ

尾崎委員 債權者トナルニ當リデス

松岡委員 ナツタ相殺スレハ目的カ達セラレナイ

尾崎委員 企圖シタハ債權者ト爲ル場合ニ至テダロウ

松岡委員 企圖ハ其前デス

尾崎委員 債權者トナルニ當リト云フハ、私ガ貴君ヘ横濱ヘ行クナ

レハ時計ヲ買テ來テ呉レト言テ渡シタ折ハ、私カ債權者トナツテ

居ル

南部委員 ソウテハナイ松岡サンカ債權者トナルノデス

尾崎委員 企圖シタハ見様カ違ウ、清岡サンニ拂テ呉レト云フ金カ

アレハ貴君ハ清岡サンニ渡サヌトキハ還ス、義務カアル、私ハ清

岡サンニ渡セト云フニ貴君カ戻シタラ私ノ目的ガ通ラヌト云フ様

ニ見ヘル

栗塚報告委員 當事者中一方ノ尾崎サンカ債權者ナリ金ヲ渡シテ企

圖シタ目的ハ何カナレハ、時計カ欲シイト云フノデ、ソレヲ受諾

シタ栗塚ニ相殺サレテハ目的ガ達セラレナイト云フノデス

南部委員 ソウデハナイ、代理人ハ松岡サンデ、若シ委任者ノ債權

者ニナルトキ得有ノ方法ヲ以テ云々トアルカラ、債權者ニナルハ

尾崎サンテナク、松岡サンデス

渡委員 何レニ見テモ差支ハナイ

委員長 松岡サント尾崎サント二人テ宜シイ

南部委員 代理人カ委任者ノ債權者ト爲ル

委員長 註解デハ申シ過キルカモ知レヌ

松岡委員 尾崎サンノ云フ様ナ意味ニ解釋シテ、若シ相殺ノ成ルト

キハ一方ノ者債權者ト爲ルニ當リ企圖シタル目的ガ達セサル意味

ニナリマス

栗塚報告委員 左様デス

委員長 當初企圖シタル目的ト云フ意味ニナツタ方ガ宜シイ
松岡委員 企圖シタル目的ガ向ウカラ相殺チ向ケ付ケテ來テモ往カヌ
ト云フノデス

清岡委員 伊太利ハ何トナツテ届ルカ
栗塚報告委員 伊太利ハ當事者中一方ガ債務者豫ノ相殺チ爲スコト
ヲ拒ミ得ルトキハトアリマス

委員長 最初カラ差引テハナラヌト云フノデス
栗塚報告委員 其外ニハ明示ト默示ト云フカアルソヨト云フノデス
清岡委員 ソウナレハ矢張り報告委員ノ修正ハ悪イ、「爲ルニ當リ
レデ宜シイ」ノデス

松岡委員 原トノ通り「爲ルニ當リ」テ宜シイ
栗塚報告委員 債權者ト爲リツ、トアリマスノデス
尾崎委員 爲ルニ當リガ宜シイ様デス

民財七ノ四〇

鶴田委員 代理力債權者ト爲ツタ例ハ引ケマセンネ
栗塚報告委員 引ケマストモ
鶴田委員 結局同シダガ頼ンタ人モ債權者ト爲ツタトキト云フノタ
ネ

松岡委員 其方ガ宜シイ様デス
南都委員 何方ニシテモ只解釋デス
松岡委員 相殺ノ爲メトシマスカ

尾崎委員 宜シイ
委員長 先ヘヤリマシヨウ
本條第四ハ「爲リテ」ハ原案ニ決シ其他ハ報告委員ノ修正ニ決
ス

第五百四十九條朗讀ス
第五百四十九條 讓渡サレタル債務者ニ爲シタル債權ノ單純ナル

告知ハ債務者カ讓渡人ニ對抗スルコトヲ得ヘカリシ法律上ノ相殺ノ前來ノ原由ヲ讓受人ニ對抗スルノ權利ヲ其債務者ニ失ハシメス（第一千二百九十五條第二項）

若シ被讓渡人カ讓渡人ニ對シテ既ニ得タル法律上ノ相殺ニ於ケル其權利ヲ留保セスシテ讓渡ヲ受諾シタルトキハ被讓渡人ハ讓受人ニ對シテ最早其權利ヲ利得スルコトヲ得ス（第一千二百九十五條第一項）

右二箇ノ場合ニ於テ被讓渡人カ相殺ヲ申立ツルコトヲ得サリシ金額又ハ有價物ヲ讓渡人ヲシテ已レニ償還セシムルノ權利ヲ妨ケス

（修正） 第一項「讓渡人」ノ上チ左ノ如ク改ム被讓債務者ニ爲シタル債權讓渡ノ單純ナル告知ハ其債務者カ

同條第二項以下 被讓人トアルヲ總テ「被讓債務者」ト改ム

民財七ノ四一

栗塚報告委員 「利得」ハ「利唱」ト改リマス

清岡委員 之ハ極ク宜シイ

栗塚報告委員 債權者ノ單純ノ告知テハ何ト云フコトカ分リマセヌ債權讓渡ノ單純ナル告知ト云フノデアリマス、ソレカラ次ノ項テハ若シ被讓債務者カトシテ「讓渡人」トアルハ皆被讓債務者デアリマス

松岡委員 前來ト云フハ前ニアリマシタカ

南郵委員 アリマシタ

栗塚報告委員 受諾ノトキト告知ノトキノ違ヒハ告知バカリテハ權利ヲ失ハセヌゾヨ、併シ受諾シタトキハソウハ往カヌゾヨト云フノデス

清岡委員 右二項ノ場合ト云フノハ

栗塚報告委員 前條二項デス

清岡委員 前項ト云フモノハ只對抗スル權利ヲ失ヒハセヌト云フノ
デ、下ノ項テハ利唱スルヲ得スダカラ失フタラ權利ヲ妨ケスト云
フ二項ノ此場合ニ於テハト云フハ据リカ悪イト思フ
南部委員 兩方カ往ケルノデ一項デハ元トノ負債主ニモ行キ、對抗
モ出來デス

清岡委員 前項ハ得サリシ金額テシヨウ

尾崎委員 前項ハ得ラル、方デス

南部委員 一概ニ云フトソウデス

清岡委員 得サリシト云フハ具合ガ悪イ、之ハ法律上相殺對抗スル
權利ヲ妨ケヌタカラ充分出來ルノダ

栗塚報告委員 出來ルニシナカツタノデス

清岡委員 下ノ項ヲ見ルト留保セスシテ讓渡ヲ受諾シタトキハ相殺
ノ權カアルカラ元トノ讓リ渡人ニ對シテ權利ノ主張スルコトカ出

來ルカラ宜シイガ、右二箇ノ場合ト云フハオカシイ

松岡委員 只得サリシト云フ文字カ種カナラヌノダ與ヘテモ得ヘカ

リシモノヲ爲スニ届テ失フコトハナイ渡ノ方ハ仕拂トシテモ云ハ
レナイ、事柄ハニツチ受ケナケレハナランガ、文ハ得サリシト云
フト弊ガアルト云ハナケレハナラン

南部委員 ソレニ清岡サン、前來ト云フハ後ノモノハトナリマスネ

清岡委員 鳥渡迷ヒマスネ

尾崎委員 充分相殺ノ旨ヘル分ヲ爲ナカツタト云ハナケレハナラン

栗塚報告委員 ソレデ宜シイノデス、得ヘカリシニ爲サ、リシト云

フノデス

尾崎委員 ソウ見ナケレハナラン

清岡委員 二箇ノ場合ト云フチ側テ、右ノ場合ニ於テトシテ宜シイ

栗塚報告委員 精ハシク尋ネレハ矢張り二箇ノ場合ニ於テデス

清岡委員 得サリシト云フハ解釋仕リマシヨウカ

松岡委員 得サリシハ一項ノ場合モ得サリシテモト見テ宜シイ

委員長 宜ケレハ先ヘヤリマシヨウ

本條ハ報告委員ノ修正ニ決ス

第五百五十條朗讀ス

第五百五十條 拂方差押ヲ爲サレタル者ハ差押ヘラレタル債務者

ニ對シテ事後ニ得取シタル債權ノ相殺ヲ差押人ニ對抗スルコト

ヲ得ス

又相殺ノ前來ノ理由ニ在テモ拂方差押ヲ爲サレタル者カ民事訴訟

法ニ定メタル方式及ヒ期間ニ於テ其理由ヲ述ヘタルトキニア

ラサレハ其者ハ之ヲ對抗スルコトヲ得ス(佛訴第五百五十七條)

右何レノ場合ニ於テモ拂方差押ヲ爲サレタル者カ已レニ對シテ

差押ヘラレタル金額又ハ有價物ニ付テハ已レニ得ヘキモノ、爲

ノ差押人ト共ニ順序ニ從ヒ辨償ヲ受クルノ權利ヲ妨ケス

(修正) 第一項「爲サレ」ヲ「受ケ」ト改メ「債務者」ノ下

「即チ自己ノ債權者」ノ八字ヲ挿入ス

同條第二項「爲サレ」ヲ「受ケ」ト改メ「者」ノ下「カ」ヲ「

ハ」ニ改メ「其者ハ」ノ三字ヲ刪リ「之ヲ」ノ下「差押人ニ」

ノ四字ヲ挿入ス

同條第三項「爲サレ」ヲ「受ケ」ニ改ム

委員長 修正デ分リ良クナツタ

村田委員 私ガ南部サンニ貸カアツテ、ソレカラ南部サンカ松岡サ

ンニ貸カアルト見テ、ソレカラ私ガ差押人デ、南部サンニ金ヲ松

岡サンニ返シテハ往カヌト云フテ差押チシタノデス

南部委員 松岡サンカ差押ヘラレタノデ、私カ債務者ダ

村田委員 分リマセン

南部委員 私ニ對シテ差押ラレタ後ハ債權得取ガアリト云テ、貴君

ニ向ケ付ケルコトハ出來マセヌト云フノダ

栗塚報告委員 受囑諾人ト差押ラレタルガ必要テス

松岡委員 差押ヲ受ケタリト云フカ旨意デスカ

栗塚報告委員 受クデス

委員長 自己ノ債權者ト入レタハ註ニモ確カニアルカラト云フノカ

栗塚報告委員 左様デス

委員長 差押ラレタルテ分ルコトハ分ルネ

尾崎委員 私カ清岡サンニ金ヲ貸テアル、ソレチ貴君カ山田サンニ

返サナケレハナラン、所チ私ガ渡シテハ往カヌト言テ、差留メタ

ノダ、スルト差押ラレタル債務者ハ清岡サンダロウ

清岡委員 差押ヲ受ケタノダ

委員長 差押ヲ受ケタルハ最初清岡サンカラ私カ受ケタノデ、今度

民財七ノ四四

差押ラレタルト云フノハ清岡サンガ私ニ押ヘラレタルノテアリマ

ス、權利義務ハ何方ニモ見ルノタ、清岡サンノ借り分ハ私カ行テ

押タノデ、私ノ借り分ハ清岡サンカ押ヘタノダ

栗塚報告委員 拂方差押ハ差留ト御覽ナスツタラ宜シイ

清岡委員 先ニ押ヘラレタラハ尾崎サンニ對シテヤラナケレハナラ

ン、自己ニ對シテ相殺ハ山田サント差引勘定カアルト云フコトハ

云ヘヌト云フノダ

南部委員 差押ラレタル者ハ差押ヲ受ケタ者ノ債權者ダ

委員長 後ニ差押ラレタルハ私デス

栗塚報告委員 清岡サンカラ見レハ山田サンハ債務者デス、清岡サ

ンカラ言葉チ立タカラ、自己ノ債權者ト云フコトニナツタノデス

自己ノ債權者ト云フカ著蠅イト思ヘハ割テモ宜シイ

渡委員 アル方カ宜シイ

栗塚報告委員 差押ヲ受ケタル者ト云フハ銀行ト御覽ナサルト分ル
 様デス、差押ラレタルハ貴君ノ負債者栗塚ガ居ル栗塚カ豫テ銀行
 ニ金ヲ預ケテ居ルト云フコトヲ知テ居ルカラ、銀行ヘ行テ拂テハ
 往カスト首フ、スルト銀行ハ曰ク栗塚サンニハ差引勘定シテナイ
 ト云フコトハ銀行カラハ云ハセヌト云フ、又銀行モソソナコトハ
 云ハレヌソヨト云フノデス

清岡委員 下ノ項ハ「者ハ」カ宜シイテシヨウカ

栗塚報告委員 「者ハ」ト改メマシタ

清岡委員 差押ラレタルハ分リ悪イ丁寧キテ却テ分ラヌト云フ心
 持カスル

委員長 此所ノ訴訟法ハ何ウナツタカ

南部委員 差押ノ言葉ニナツテ居リマス、是非訴訟法ノ方ヘ通知致
 シマシタ

委員長 ソウシテ下サイ

清岡委員 「其差押ラレタル金額」トシタイ

栗塚報告委員 「其差押ラレタル金額」デ宜シイ、字モ己レニ對シ
 テハ悪イノデス

松岡委員 付テト云フ字ガ重クナルノデスネ

鶴田委員 分ルコトハ分ル

松岡委員 先ツ宜カロウ

清岡委員 下ノ方ハオカシイ、差押ヲ受ケタル者ト云フト、即チ債
 權者ダ自己ノ債權者差押ラレタル者テハナイ、差押ヲ受ケタ者ダ
 カラ之ハ差押ヲ受ケタラ私カ受ケタノデ、私ガ山田サンニ對シテ
 ハ債務者ダ、ソレチ差押ラレタ尾崎サンカラ拂テ呉レト云ハレタ
 ガ、私ハ己ニ順序ニ從テ辨償ヲ受ケル權ハナイ筈デス

鶴田委員 ソレハ先ヘ行テ出來ルノデス、何セナレハ自己ノ得取シ

夕債權ガ出テ來マス

清岡委員 私ハ尾崎サンニ拂フカ、委員長ニ拂フカドウデモ拂ハナケレハナラン

鶴田委員 拂ヒ後ノコトヲ云フノデス拂タラ又取ル金カアルト云フノデス

松岡委員 自己テモ自然ノテモ訴訟シテ陳述シナケレハ往カヌノデ二ツノ何レノ場合ニハ清岡サンハ押ラレテ居ル金額拂ヒ部分テアリマス、條件付キデ、委員長カラ清岡サンニ拂フヘキモノガアルトキ、尾崎サンニ向テ拂方ヲ差留メルト、百圓ノ爲ノニ百五十圓押ヘテアルカモ知レヌ

栗塚報告委員 ソレハ別ノ話ダカラ差押ラレタル負債者ニ向テ行ケマス

清岡委員 私ハ辨償ヲ受ケル人テアロウガソウハ見ヘナイ、ト云フ

民財七ノ四六

モノハ私ハ山田サンニ對シテ拂ハナケレハナラン男タカラ、尾崎サンカラ差押ラレタノダカラドウテモ拂ハナケレハナラン

松岡委員 ソレハ拂ハナケレハナラン

栗塚報告委員 拂ハナケレハナランノハ清岡サン、又貸タモノモアルト見ナケレハナラン差留メテ受タハ借リテ居ルカラデス、所テ又委員長ニ貸タコトモアルト貸タモノニ付テ差押ルコトカ出來ル元來差押人ト云フモノハ委員長ハ貴君ノ本當ノ負債者清岡サント關係ハナイ只借テ居ルカラタ差押ハ何セ起タカナレハ委員長ニ貴君カ貸カアツテ取り損ナツテハ往カヌカラ清岡サンカ押タノダカラ山田サンカ押ラレタノデ尾崎サンノ負債者山田サンノ上ニハ清岡サンハ負債者デナイ貴君カラ見レハ第三者タ、併シナカラ委員長カラ見レハ清岡サンハ負債者ダカラ是非貴君ハ上ケナケレハナラン、併シ上ケ切ルニハ及ハヌト云ハレタノデ私ガ差押ヲ受ケタ

後山田サンニ金ヲ返シタトハ云ハレナイ、又二番目ニ差押ノ理由
ヲ述ヘタトキ行ケルコトカアツタカ言損シタラ之ハ貴君ニ向テ言
フコトハ出来マセン、併シナカラ山田サンニ向テ二三項テ債權ヲ
幾分力持テ居ルカラ昔シハ負債テアツタガ、跡テ債權者トナツタ
カラ尾崎ニ云ヒ一所ニ行テ押ヘルコトカ出来ルト云フノデス
清岡委員 成程先ニ出来タ債權ヲ取ニ行クトキ又ハ其相殺ノ理由ヲ
言ハナカツタトキハテスカ、併シ下ノ項ハソウハ見ヘナイ
栗塚報告委員 見ヘルト願ヒマス

松岡委員 順序ニ付テ有價物ト云フカ必要テアリマス

清岡委員 然レトモト云フ所ダネ

栗塚報告委員 左様デス順序ニ從ヒ辨償ヲ受クルハ結果デ、其前ニ
記入シテ貰フノデ記入ノ順序ヲ拂テ行クノテアリマス

清岡委員 差押人ト共ニ順序ニ從ヒハ何ウカ

民財七ノ四七

栗塚報告委員 ソレハ訴訟法ニ依テ分ルノデス

清岡委員 此所ハ大勢ヘ到底對抗ハ出来マセヌト併シナカラ己レモ
相殺スヘキコトガアルナレハ差押人ニ取ラレタ跡テハ辨償ヲ受ケ
ル權利カアルト云フ丈ケデス

栗塚報告委員 左様デス

委員長 順序ニ從ヒハ何ウ云フコトカ

栗塚報告委員 裁判所ヘ出テ債主カラ自分ノ名ヲ記入セシムルト云
フノデ結果ハ何ウカナレハ記入ノ順序デ金ヲ拂フト云フノテス、
併シ少シ云ヒ過キテアリマス只帳簿ヘ記入セシム位ヒテ宜シイノ
ダガ、之ヲ訴訟法テ能ク分ルノテアリマスカラ何ウ云フ風ニナル
カ訴訟法ニ依テ、ス

松岡委員 差押ト云フノハ先取特權ハナイモノダ共ニ物件ヲ賣買ス
シテ已ニ實物ニ付テ行ハル、故ニ金額有價物ニ付テモ亦辨償ヲ受

ケルト云フノデス

清岡委員 貴君ハ文字ヲ見スニ言フ様ダガ、文字ヲ見レハ差押人ト共ニ順序ニ従ヒテ、共ニ順序ニ従ヒ様ハアリマセン、ソコテ差押人ニ充分權利ヲ與テ後ノ場合ヲ云フノダ

松岡委員 否、ソウテナイ差押ト譲ラレトチ、ゴタニスルカラ往カヌノダ譲ラレタナレハ丸々取レヌ、差押ハ決シテ先取特權ハ持テヌ、ソコデ此人ハ取戻スコトヲ得、最初相殺力出來タナレハ又モヤラスニ濟ムカモ知レヌ、ソレチ差押ヘレハ相殺シテ残りナク取ルコトハ出來マセン

尾崎委員 ソレテ此差押チ差押人ヨリ先ニ取ルコトハ出來マセン、賣リ拂テ分ケ取りスル時分ニハ差押人ノ少イ仲間ハ進入ルト云フノダ

松岡委員 最初相殺スレハ出來タノダ、ソレチ押ヘラレタカラ出來

民財七ノ四八

マセンカラソウデハナイ、丸デ進入ラレヌト云フモノデハナイト云フノデス

清岡委員 固トヨリ出來マセンノダ、皆何レノ場合ニ於テモト云フハ出來マセヌト云フノダ、出來ナイカラ、然レトモソナラバ四文モ取レヌカト云フニ、ソウデハナイ、已レノ得ヘキモノハ有價物ニ付テモ辨價チ受ケルコトカ出來ルノデス

松岡委員 一概ニ出來ルナレハ彼ノ人ト差引スルト言タラ濟ム、然ルニ百圓ノモノチ差押チ相殺チシナカツタ場合ニハ百圓ハドウテモ備ヘナケレハナラン、スルト押ヘタ人カ押タ後當リ前ノ手續デ取ロウトシテモ往カヌ、差押ノ優先權デ差押タト云フ、此トキ先取特權ノ出ルモノデナイ、跡カラ出タ人モ一緒ノ配分デス

栗塚報告委員 順序ニ従ヒトアル爲ノニ疑ヒカ出ルト私カ翻譯局デ言タコトガアル、全體順序ニ従ヒ、マテ云タノハ少シ云ヒ過キタ

ノテアリマス

松岡委員 私ハ已惚デモ何テモナイ、然レトモ相殺ノ利益ニ屬セサルニ至ルヘキ此二箇ノ場合ニ於テモ其通常債權タルコトハ勿論ナリ故ニ云々トアリマス

栗塚報告委員 順序ニ從ノ字カアルカラ論モ出ルカラ之ハ審判局ヘ申マツテ變ヘマシヨウ

委員長 ソンナラソウシテ先ツヤリマシヨウ

本條ハ末項「順序ニ從ヒ」ノ五字ハ審判局ヘ問合セルコトトシ

其他ハ報告委員ノ修正ニ決ス

第五百五十一條朗讀ス

第五百五十一條 相殺ニ因リ既ニ消滅シタル債務ヲ辨濟シタル者ハ其錯誤ニ出テタルトキト雖モ不當ノ利得還償訴權ノミヲ行フコトヲ得但次條ニ記載スルモノハ此限ニ在ラス（第一千二百九十

九條

尾崎委員 取戻シ訴權ダネ

清岡委員 文章ハ六ヶ敷イネ

南部委員 相殺デ既ニ消ヌ債務ヲ辨償シタノデソウナツタトキ相殺ヲ取消スコトハ出來マセヌ

栗塚報告委員 何人ニ限ラス正當ノ理由ナクシテ得タモノハ取戻ヲ受クト云フ、第三百八十一條ノ裏テ御座リマス

尾崎委員 之ハ分テ居リマス

鶴田委員 之ハ分テ居ル、二度拂チシタ場合ダ

清岡委員 知ラナクテ遣テ相殺ニ戻テ得タイト云フコトハ出來ン還償訴權ノミヲ行ヘルト云フノテシヨウ

栗塚報告委員 左様デス

清岡委員 ノミ行フハ分ラヌ

南部委員 其外ハ行ハレヌト云フノダ

委員長 事柄ハ分テ居ル、先ヘヤリマシヨウ

本條ハ原案ニ決ス

第五百五十二條朗讀ス

第五百五十二條 前三條ニ定メタル場合ニ於テ相殺ニ因リ既ニ消滅シタル債務ヲ讓受人若クハ差押人ノ利益ニ於テ追認シ又ハ自己ノ債權者ニ辨濟シタル者ハ其舊債權ヲ擔保シタル保證先取特權若クハ抵當チ最早利囁スルコトヲ得ス但既ニ得タル相殺チ知ラサルコトニ付キ正當ノ原由チ有シタルコトヲ證スルトキハ此限ニ在ラス此場合ニ於テ原債權ハ其抵保及ヒ其他ノ性質ト共ニ其者ニ返還セラル(第千二百九十九條、伊民第千二百九十四條) 清岡委員 正當ノ權チ有シテ居レハ元トニナツテ仕舞フト云フコトヲシヨウ

栗塚報告委員 左様デス

渡委員 既ニ消滅シタル債務ヲ讓受人ノ利益ニ於テ追認スト云フハ

ドウ云フコトカ

栗塚報告委員 相殺デ消ヘタモノヲ消滅シタニ相違御座リマセント云タノデアリマス即チ四十九條ヲ指タノデアリマス、既ニ原因ナクシテ消ヘテ居タモノヲ拂ヒマシヨウト云タラ先取特權ヤ何カ無クナツテ仕舞フソヨト云タノデア、法律上消ヘタト云フニ消ヘヌト云フノダカラ傍ノ者ハ迷惑ダカラト云フラシイ、知ラスニヤツタト明確ナレハ矢張り生キテ居ルゾヨト云フノデアリマス

清岡委員 此場合ニ於テハ、オカシイカラ三十三條ノ様ニ改メタイ栗塚報告委員 ドウデシヨウ、彼所ハ審キ様カナカツタカラ、ア、シタノダガ此所ハ宜シイテハ御座リマセンカ

渡委員 次ノ條ヘ行キマシヨウ

尾崎委員 行キマシヨウ

本條ハ原案ニ決ス

第五百五十三條朗讀ス

第五百五十三條 任意ノ相殺ハ當事者中ニテ法律カ法律上ノ相殺
ヲ拒絕スル爲メ利益ヲ受クル者ニ因リ對抗セラル、コトヲ得總
テノ場合ニ於テ利害ノ關係アル各人ノ承諾アルトキハ相殺ハ合
意上ノモノタルコトヲ得

任意ノ相殺ハ既往ニ溯ルノ効ナシ

(修正) 第一項「總テノ場合」ノ上ヲ左ノ如ク修正ス

「任意ノ相殺ハ法律カ法律上ノ相殺ヲ許サ、ル爲メ利益ヲ受
クル一方ノ當事者ヨリ之ヲ對抗スルコトヲ得」

栗塚報告委員 修正シマシタハ「任意ノ相殺ハ當事者中ニ」ト云フ
コトヲ止メテ「任意ノ相殺ハ法律上ノ相殺ヲ許サ、ル爲メ利益

民財七ノ五一

ヲ受ケル一方ノ當事者」トヤリマシタ、之ハ轉イ修正ト思ヒマス

橋田委員 通ルコトハ出來ソウナモノダスネ

尾崎委員 ソレハ出來マス

橋田委員 チトオカシイネ

栗塚報告委員 先刻例外カ御座リマシタロウ、第五百四十八條ノ第
二テ養例ト稱セラレトアル、アレ丈ケテ禁シテ居ルノダカラ、一
方ハ時計ヲ買テ與レト頼ンタ人、ソレカラ又寄托物ヲ預ケタ人ラ
シイ、鐵カ何カ貰テ居ル人ハ鐵ヲ差押ルコトハ出來マセンカラ其
人ノ爲メニ法律カ權利ヲ保護シテ置カウト思テ許シテ置クカ、其
人カ許セハ出來ルト云フノダカラ、第五百四十八條ヲ對照スレハ
能ク分リマス

尾崎委員 一寸不審ダスガ、末項ノ「任意ノ相殺ハ既往ニ溯ルノ効
ナシ」ト云フハ任意テ相殺ヲシヨウト云フ場合ニハ相殺スルノテ

シヨウ

栗塚報告委員 其前ニ溯テ利息ヲ彼ノトキカラ生セヌモノタト云ヘ
ヌノデ貴君ニ借リカアル、私ハ貴君ニ貸カアル借貸ヲ相殺シヨウ
ト云フハ、今日カラ相殺シテ居ルノデ法律カラ云フト溯テ元トカ
ラナイモノト看做スガ、之ハ爲ルト云フトキカラト云フノデス
鶴田委員 今日相殺シヨウト云フト今日迄互ニ遣タハ昔シニ溯ルノ
テスネ

南部委員 ソウ往カヌノテス

栗塚報告委員 法律上ハ昔シカラナイモノト見ルソヨト云フノデス
松岡委員 ドウ云フ場合デスカ

尾崎委員 任意デ差引スル場合、三年跡カラ私ト貴君ト互ニ取りヤ
リシテ居ル所チ任意ノ差引ノ場合ハ利息勘定スルガ、ソウスルト
三年前カラ溯ル

南部委員 今ノ相殺ハ三年前カラ利息ヲ積ンテ、貴君カラ借リタト
キ利息ハ格別トシテ勘定シテカラヤルデシヨウ、法律上ハソウデ
ナイ三年前カラナイモノト見ルノデス

松岡委員 五分ノ利息ト一割ノ利息ト計算スルト、高い利息ノ人ハ
得テスル、ソレハ自己ノ上ニ大變關係スル

清岡委員 合意ト任意ノ區別ハ

栗塚報告委員 一方カラ出來ルノカ任意テアリマス

松岡委員 此所ニ云フノハ御丁寧ナ話デス

栗塚報告委員 ケレトモ第五百四十八條ヲ許サヌト云フハ變例ト稱
スル寄托物、預ケ主ハ儘カ何カ賈テ居ル人ニ差引コトハ出來マセ
ヌ、様ニ見ヘルガ、出來ルゾヨ、之チ名付ケテ任意ノ相殺ト云
フソヨト云テ居ルノダカラ云ハナケレハナリマセン

委員長 是テ今日ハ置キマシヨウ

本條ハ報告委員ノ修正ニ決ス

于時午後第五時閉會ス

民法草案按財產黨人權ノ部第三十九回議事筆記
自第五百五十四條
至第五百六十九條
竝ニ強制通用ノ件

民法草案按財產黨人權ノ部第三拾九回議事筆記
自第五百五十四條 至第五百六十九條 竝ニ強制通用ノ件

明治廿一年三月十九日午前第九時四十分開議

委員長 初ノマシヨウ

第五百五拾四條朗讀ス

第五百五拾四條 裁判上ノ相殺ハ被告カ原告ニ對シ自己ノ利益
ニ於テ債務ヲ追認又ハ清算セシムルヲ趣旨トスル其反訴ノ方
法ニ因テ得ラル

此場合ニ於テ裁判所ハ場合ニ從ヒ或ハ先ツ主タル訴ヲ決シ或
ハ之ヲ中止シテ相殺ヲ行ヒ且債務ノ最多額ナル者ノミニ對シ
辨濟スヘキノ旨波ヲ爲シテ二個ノ訴ヲ併セテ決スルコトヲ得
裁判上ノ相殺ハ其對抗セラレタル日ニ溯リテ効アリ

修正 第一項「追認」ヲ「追認セシメ」ト改メ「清算セシムル」ヲ

「明確ナラシムル」ト改メ「其」ノ一字ヲ削ル

第二項「此場合」ヲ「此時」ト改ム

栗塚報告委員 第一項「債務」ハ「債權」ト翻譯ヲ改メマス第一項

ト第二項ニ修正カ御座ヒマス

松岡委員 「此時ニ於テ」ハ珍ラシイナ

栗塚報告委員 「此時ニ」テモ宜シウ御座ヒマス

村田委員 「明確」ト云フ字ハ英文テハ「額」ヲ定ル」ト云フコトニ

ナツテ居リマス

栗塚報告委員 其レハ少シ云ヒ過キテ御座ヒマシヨウ確實ニ爲スト

云ヘハ宜シイ、確實ニ爲スト云ヘハ分量モ本性モ籠リマス

松岡委員 自己ノ利益ニ於テト云フ字カアツタ爲ノニ分リ悪クイ、

被告ノ持テ居ル自己ノ債權ダ

栗塚報告委員 「被告カ原告ニ對シ自己ノ債權ヲ」テ御座ヒマス

尾崎委員 中止シテ相殺ヲ行ヘト云フノハ和解ニテモスルコトダスカ

栗塚報告委員 主タル訴ヘテ決シテモ争ハナイテモ中止シテ相殺ヲ行フ

鶴田委員 主タル訴ヲ決スル迄ハ一ツダシヨウ

南部委員 明確ナラシムル間暇カアルカラ其間中止スルト云フノテス、一方ヲ中止シナケレハ一方ノ調ヘカ出来マセン

尾崎委員 訴カ成立テ居ル

南部委員 原告ノ訴ヲ中止シナケレハ原告ノ訴カ變ツテ居ル、第一項ノ終リハ「反訴ノ方法ニ因テ之ヲ得」ト致シマシヨウ

栗塚報告委員 一項ノ終リハ「之ヲ得」ト致シマシヨウ

鶴田委員 其レテ宜カロウ

南部委員 末項ハ「之ヲ對抗シタル日ニ過ル」トシテハ如何テス

松岡委員 「其對抗シタル」ヲ宜カロウ

鶴田委員 「其對抗シタル」ヲ宜シイ

松岡委員 獨乙ノ訴訟法ヲ移セハ之レカ出テ來ル

南部委員 其レハソウテス

松岡委員 法定ノ相殺ハ裁判所ノ處テ云フト職權テスルコトハナイ

ダロウ

栗塚報告委員 左様テス

松岡委員 詰リ此意味カ他ニ在ルトシテモ裁判官カ處分スルノハ同
シタロウ

栗塚報告委員 「之ヲ對抗シタル」ノ方カ宜シイ様テス

鶴田委員 其レテ宜カロウ

委員長 債務ノ最多額ノ者ノミニ對シテト云フノハ比較シテ債務ノ
多額ト云フコトダネ

栗塚報告委員 左様デス

松岡委員 「債」ノ字カ種カナラヌノテ御座ヒマス比較級ノ多少デ

御座ヒマス

渡委員 債ト云フヨリ外ニ仕方ガアルマイ最下額最下減ト云フ「ラ

ブリウ」ハ「債」ノ字ヨリ外ニ仕方カナイ

委員長 宜ケレハ先キヘ行キマシヨウ

本條ハ左ノ如ク決ス

裁判上ノ相殺ハ被告カ原告ニ對シ自己ノ利益ニ於テ債權ヲ追認
セシメ又ハ明確ナラシムルヲ趣旨トスル反訴ノ方法ニ因テ之ヲ
得

此場合ニ於テ裁判所ハ云々以下原案ノ通り

裁判上ノ相殺ハ之ヲ對抗シタル日ニ遡リテ効アリ

第五百五十五條朗讀ス

第五百五十五條 若シ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ對シ法律上又ハ裁判上ノ相殺ニ係リタル數箇ノ債務チ有スルトキハ其債務ノ相殺セラル、順序ハ第四百九十三條ニ規定シタル如ク辨濟ノ法律上ノ充當ノ順序タリ(第一千二百九十七條)
若シ相殺力任意上即チ合意上ノモノナルトキハ充當ハ第四百九十一條及ヒ第四百九十二條ニ記載シタル規則又ハ當事者ノ協同一致ニ從フ

修正案

第二項「即チ」ヲ「又ハ」ト改ム

栗塚報告委員 二項ノ任意上「即チ」ハ「又ハ」ノ誤リデ御座ヒマス任意上ノモノナルトキハ第四百九十一條九十二條ノ規則ニ從フシ、合意上ノトキハ當事者ノ共同一致ニ從ヒト云フ意味ニナラナケレハナリマセンカラ「又ハ」テ御座ヒマス、四百九十三條ハ「

若シ債務者ヨリモ又債權者ヨリモ有効ニ充當ヲ爲サ、ルトキハ充當力當然ニナルコト左ノ如シ「トアリマス又費用ヲ先キニシ元本ヲ後ニスルトカ云フ順カ御座ヒマス相殺モ先キヘ差引ノハ期限ノ至タモノヲ先キニシテ費用ヲ先ニシテ元本ヲ後ニシマス其コトテ御座ヒマス

鶴田委員 之レハ分ツテ居ル

松岡委員 債務チ相殺スル順序トシマスカ

南都委員 其債務チ相殺スルノ順序デモ宜シイ

鶴田委員 其レテ宜カロウ

栗塚報告委員 「規定シタル如ク」テハアリマセン「如キ」テ御座

ヒマス

松岡委員 「第四百九十三條ノ規定ニ從フ」テモ宜シイ

栗塚報告委員 其ウデス、法律上充當トハ云ハヌカ知ラヌ

委員長 格別ハナイ様ダ、先キヘ行キマシヨウ

本條ハ左ノ如ク決ス

若シ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ對シ法律上又ハ裁判上ノ相殺ニ
係リタル數箇ノ債務チ有スルトキハ其債務チ相殺スルノ順序ハ
第四百九十三條ニ規定シタル如キ辨濟ノ法律上ノ充當ノ順當タ
リ

第二項「即チ」ヲ「又ハ」ト改ム

第五百五十六條朗讀ス

第五節 混同

第五百五十六條 一義務ノ債權者タリ及ヒ債務者タルノ分限カ
相續又ハ其他ノ事ニ因テ一人ニ併セラレタルトキハ義務ハ混
同ニテ消滅ス（第一千三百條）

若シ右ノ混同カ前來ノ適法ナル原由ノ爲メ解除、銷除、又ハ

廢罷セラレタルトキハ義務ハ消滅セサリシモノト看做サル

修正案

第一項 「一義務」ヲ「同一ノ義務」ト改メ「其他ノ事
ニ因テ」ヲ「其他ニテ」ト改メ「一人ニ」ヲ「同一ノ人
ニ」ト改メ「混同ニテ」ヲ「混同ニ因テ」ト改ム

栗塚報告委員 之レハ修正ガ御座ヒマス

松岡委員 「其他ニテ」ト云フノハ少シ語力足ラヌ様ダ

栗塚報告委員 相續ノ外ノ事ニテト云フノデス原書ニ「事」ト云フ
字ガアレハ入レマスガ原書ニアリマセンキ原書ニハ「オートルマ
ン」トアリマス

鶴田委員 語ハ足ラヌガ分ラヌコトハナイ

栗塚報告委員 其外テト云フ意味デス、若シ分ラヌケレハ起案者ニ
相談シナケレハ入レラレマセン「オートルマン」ヲ其他ノ事ニテ

トハ云ハレマセンカラ「オートルフェー」ト云ヘルト云ナレハ宜シイ

松岡委員 「其他ニテ」トハ云ヘヌ

南部委員 其他何々ニ適用スト云フノガアルカラ同ジコトダロウ

松岡委員 何々トアレハ宜シイカ、ナイカラ困ル

栗塚報告委員 原文ニハ「相續又ハ相續ノ他ニテ」ト書イテ御座ヒ

マス

松岡委員 意味ハ分テ居ルカ、「其他ニテ」ト云フノハ宜クナイ

鶴田委員 アレハ尙ホ宜シイガ、無ウテモ分ラヌコトハナイ、混同

ハ解除、消滅スルノハ混同シテ消滅スルノテ御座ヒマスカ、混同

ハ成立タヌノデ御座ヒマスカ

栗塚報告委員 混同ガアツタ様ニ見ヘテ其實一ノ物カナイトキハ混

同ガ止ミマスカラ

鶴田委員 混同カ成立テカラ死ンタノハ、止マツタ方デ見レハ一度

義務カ消滅シテカラ復タ再生スル様ニナルガ、場合ハ如何ナル場

合ダロウ

南部委員 元トヘ復ヘルノデス

栗塚報告委員 消滅シナイガ、消滅シタモノト見ルゾヨ

鶴田委員 一度混同シテ相續人ガ死ヌトカ又ハ一度ヤツテ破毀シタ

トカ云フ場合ヲ云フノダロウ

栗塚報告委員 一度相續ヲシタガ親不孝デ相續ガ出来ヌ、併シ親カ

死ンデ子ガ相續シテ混同ガアツタ様ニ見ヘルノハ親ヲ殺シタノデ

南部委員 看做スデ宜シイ様ダ

栗塚報告委員 左様デス

松岡委員 子カ親ノ債權者トカ、又ハ親カ子ノ債權者トカ云フ場合

ノ外ハナイカ知ラヌ

栗塚報告委員 一通ノ遺囑書ニハ私ニヤルトアル、後ニ見タ處ガ取
消シテアツタケレトモ松岡サンニヤルト書ヒテアル、或ハ南部サ
ンカ物チャルト云テ條件ヲ付ケテ置イタ處カ私ガ條件ヲ履行シナ
カツタ

松岡委員 餘程難義ナノダ主タル所ヲ見ルニハ子ガ父ニ對シテ義務
ヲ負フトカ、父カ子ニ對シテ義務ヲ負フト居タノガ意味ノ眼目ダ
ナ

栗塚報告委員 左様テ御座ヒマシヨウ

松岡委員 相続人ハ如何ナルカ知レヌガ親カ義務者デ子ガ権利者ト
ナル場合ガアルカ知ラヌ

栗塚報告委員 其レハ幾ラモアリマシヨウ母親カ死ンテ母方ノ親カ
死ンタトキハ其財産ヲ相続スル場合ガアリマシヨウ

松岡委員 子カ親ノ債主ナドト云フコトハナイ

南部委員 アリマス、一身ニ關シタコトハ法律上デ子ガ親ノ債權者
トナツテ居ル、親カラ子ニ借財スルコトガ出來ルカラ子ガ親ニ借
財スルコトガ出來ヌト云フコトハナイ

松岡委員 子ガ親ヲ斷ヘテ親ヲ身代限りサセルコトハ出來ナイ

南部委員 アリマス

村田委員 商事ナドニハ随分アリマス

松岡委員 併シ理窟上ナイコトダ

南部委員 係ツテ來タトキハ拂ヘト云フヨリ外ニ仕方ガナイ

栗塚報告委員 相殺テモ代位テモ相続法ニ關係ヲ持テ居ル

松岡委員 代位ハ保證人カラ幾ラモ出來ル此處ハ「ボアソナード」
ハ一番ノ源ヲ見タノダロウカ

栗塚報告委員 左様デ御座ヒマシヨウ、外ニナイカラテ御座イマシ
ヨウ

松岡委員 此處ニ在テモ身分ガ定マルモノデハナイガ何時ノ間ニヤ
 ラ日本ノ社會ヲ簡様ナ方法ヲ定メハセヌ疑フノテアリマス
 渡委員 無クテモ同シコトダ
 尾崎委員 相續ヨリ外ニアルマイ
 村田委員 債權ヲ讓受ケタ者カアル
 松岡委員 實際ハ混同ナドハ出來ナイ、差引シテ仕舞フ
 栗塚報告委員 公然ニヤルト混同ニナラナイ
 松岡委員 私ガ氣遣ツテ居ルノハ簡様ニ定ツテ居ルト後ニ身分ノ處
 ナ論スルトキ此處テ決シタデハナイカト云フ替ニヤリヤセヌカ
 栗塚報告委員 左様テハアリマセン此處ハ本源ヲ定メタノデアリマ
 スカラ
 南部委員 相續法ハ如何ナロウトモ親子ノ間兄弟ノ間ニ貸借カアレ
 ハ此規定ニ因ル

松岡委員 貸シタ人ノ相續ヲシテ居レハ訴ヘ様ハナイ
 南部委員 ソコデ混同ニナル
 鶴田委員 相殺ハ誤リガアレハ返ヘスカ、之ハ誤リガアツテモ返サ
 ナイカラ其レ丈ケ違フ日本デモ親類内ヘ養子ニ行ツタトキナドハ
 簡様ナコトカアル
 栗塚報告委員 持參金ナドヲ持テ來ルノハ混同シテ居ルノデス
 委員長 今デモアルコトハアルダロウ
 委員長 混同ガ廢罷セラレタルト云フノハ混同ガ成立タヌノダロウ
 鶴田委員 一旦混同ヲシテ死ンダトカ離縁シタトカスルト適法ノ原
 因デナイ
 栗塚報告委員 一ノ遺囑證書ニハ貴君ニ此家屋ヲヤレト書イテアル
 又第二ノ遺囑書ヲ見ルト栗塚ニヤレト書イテアツタ場合デス、貴
 君ノトキニハ混同ガアツタカ、栗塚ヘ移ツテ混同ガ無クナツタ

鶴田委員 正當ナルコトヲ混同シテ間モナク事故カアツテ分離スレハ之レハ一度消ヘタカラ再ヒ起ル譯ハナイ

村田委員 相當ノ相續人ト思タ者カ死ンタト思テ居タ處カ歸ツテ來タ場合ダ

栗塚報告委員 ソウ云フ場合ダス

松岡委員 養子ニ行ク前ニアツタ借金ハ養子カ離縁シテ行クトキハ元トノ通り戻サナケレハナリマセンカ

栗塚報告委員 其レハ混同ニハナリマセン、新義務カ生スルノデ

鶴田委員 其レハ此ノ方テハナイノダス

松岡委員 養子ニ來ル前ニ貸借ニナツテ居ルモノハ養子ニナレハ混同スル、其レヲ離縁スルトキハ

栗塚報告委員 養子取消カ或ハ離縁ダス

松岡委員 養子ガ借人テ養子カ相續スレハ混同タガ、其前ニ貸シテ

アアツタ金ハ如何スルカ

南部委員 其レハ相續養子ノ處デ出テ來マス

松岡委員 何處デ定メテモ道理ハ同シニ定メナケレハナリマセン

南部委員 相續チシタ家カ潰レ、ハ無クナツテ仕舞フ

栗塚報告委員 註デ見ルト連帶テナクトモ宜シイガ其レデナイト第三者ニ功カナイ、五百五十三條テ第三者ナル保證人トカ、先取特權ヲ利唱スルコトガ出來ナイ、其兩人ノ間ハ宜シイガ第三者ニ對シテハ鶴田サンノ仰シヤル通りテナケレバイケナイ

鶴田委員 義務ハ消滅セサルモノト看做スト云フノハ第三者モ義務ヲ負フテ居ル、此内ニハ入ラヌ持テ來タ金ノ内カラ持テ歸ヘレト云フ新タナル義務ガ生スルノダ

栗塚報告委員 左様テス

委員長 先キへ行キマシヨウ

本條ハ左ノ如ク決ス

第一項 「一ノ義務ノ」ヲ「同一ノ義務ノ」ト改ム

第五百五十七條朗讀ス

第五百五十七條 若シ債權者カ連帶債務者ノ一人ニ相續シ又ハ

連帶債務者一人カ債權者ニ相續シタルトキハ連帶債務ハ此債

務者ノ部分ニ付テノミ消滅ス（第千二百九條、第千三百一條

第三項）

若シ混同カ連帶債權者ノ一人ト債務者ノ間ニ行ハル、トキハ

其混同ハ亦一分ニ付テノミ成ル

栗塚報告委員 「連帶債務者ノ一人カ」トナリマス之ハ寫字ノ誤リ

テ御座ヒマス

鶴田委員 債務者ノ間ニト云フノハ

栗塚報告委員 債務者ガ一人テ債權者ガ大勢ノ場合デス、此處ハ連

帶債權者ノ一人カ債務者ノ相續シタルトキハト云フノデス

鶴田委員 「間」ト云フ字ハアツテモ無クテモ同シテスカ

栗塚報告委員 左様デス第一項ノ裏テ二項テ見セタノテス

委員長 先キへ行キマシヨウ

本條ハ原案ニ決ス

第五百五十八條朗讀ス

第五百五十八條 若シ義務カ不可分ナルトキハ債權者ノ一人ト

債務者ノ一人トノ間ノ混同ハ他ノ者ノ利益又ハ負擔ニ於テ全

部ノ義務ヲ存立セシム然レトモ其身ニ就キ混同アリシ者ハ第

四百六十六條ニ從ヒ一分ノ價金ヲ供シ又ハ受クルニアラサレ

ハ全部ニ付キ訴訟シ又ハ訴訟セララルコトヲ得ス

栗塚報告委員 終リハ「第四百六十六條ニ從ヒ一分ノ價金ヲ供スル

ニ非サレハ全部ニ付キ訴訟スルコトヲ得ス又一分ノ價金ヲ受クル

ニ非サレハ全部ニ付キ訴追セラル、コトヲ得ス」ト云フコトニナ
リマス

松岡委員 「訴追セラル、コトヲ得ス」ト云フノハ可笑シイ

栗塚報告委員 「訴追セラル、コトナシ」デモ宜シイノデ御座ヒマ
シヨウ

渡委員 訴追セラル、コトナシデハ不充分ダカ之ヲ顛倒シテ書イタ
ラ出来ルカ知レヌ

松岡委員 一定スルダロウカラ先ツ之ヲ置コウデハナイカ
委員長 先キへ行キマシヨウ

本條ハ原案ニ決ス

第五百五十九條朗讀ス

第五百五十九條 若シ一人カ二人ノ連帶債權者又ハ二人ノ連帶
債務者ノ分限ヲ併セタルトキハ權利又ハ義務ノ消滅ナシ其身

ニ就キ併合ノ成リタル者ハ債權者ノ利益ニ從ヒ或ハ自己ノ名
ヲ以テ或ハ己レカ相續シタル者ノ名及ヒ權利ヲ以テ全部ニ付
キ訴追シ又ハ訴追セラル、コトヲ得

備方又ハ受方ニテ不可分ナル義務ニ付テモ亦同シ

栗塚報告委員 此條ハ起案者ニ質問シテヤリマシタガ未タ返事カ參
リマセン、起案者モ之ニハ一言モアルマイト云フノハ債權者ガ二
ツ重ナリ又ハ債務者タルノ資格ガ二ツ重ナツテモ義務ノ消滅ノ原
由ニナリマセン、義務ノ消滅セヌ事ヲ持テ來テ備様ナ者ハ義務カ
消滅セヌト云フ、固ヨリ義務ノ消滅スル筈ハナイ、何トナレハ二
人ノ義務者チ一人ニテ兼ネタノデスカラ混同ト云フ字モ使ヘマセ
ン、併合ト云フ字ヲ使テ居リマス、訴ノ出来様ハナシ又訴ノ出ヨ
ウ筈モナイ

橋田委員 删除ニナツテモ宜シイ

栗塚報告委員 無論刪除ニナルダロウト思ヒマスカ一應開イテ見ヨ
ウト云フノテ開キニヤリマシタ

村田委員 混同ト云フ字ハ入テ居ナイ

栗塚報告委員 「レニオン」ト云フ字ガ入テ居マス

尾崎委員 ドウモ不要用ダ

松岡委員 此處等ハ報告委員ヂヤツテ吳レタノガ宜シイ

栗塚報告委員 義務ノ消滅ノ中ヘハドウシテモ置ケヌダス

委員長 返事ノ來タ後ニヤリマシヨウ

栗塚報告委員 文字ノ修正モ致シマセンカラ此備置ヒテ宜シイカト

思ヒマス

委員長 先キへ行マシヨウ

本條ハ起案者ニ質問ノ上議スルコトトシ未定

第五百六十條朗讀ス

第五百六十條 若シ保證人カ債權者ニ相續シ又ハ債權者カ保證
人ニ相續スルトキハ保證ハ其總テノ附從ノモノト共ニ消滅ス
（第一千三百一條第一項及ヒ第二項）

若シ債務者カ保證人ニ相續シ又ハ保證人カ債務者ニ相續スル
トキハ債權者ハ主タル債務者ニ對シテモ、共同保證人ニ對シ
テモ又保證人ノ擔保人ニ對シテモ自己ノ訴權ヲ保存シ保證ニ
附着シタル動産質及ヒ抵當モ亦存立ス

栗塚報告委員 第二項ハ矢張り本條ト同シコトダス、之ハ詰リ債務
者カ保證人ニナツテモ保證人丈ケハ消ヘハセヌト云フノデ御座ヒ
マス

松岡委員 愈々確カニナツタト云フ様ナモノダ之モ前條ト同シニ制
ルカ宜シイ

委員長 之レモ佛蘭西デハ均分シテアルカネ

栗塚報告委員 一項ハ混同シテ宜シウ御座ヒマス債務者カ權利者ノ
相續チシタノデ御座ヒマスカラ同シコトデス權利者ト義務者ト一
ツノ所ヘ置ケルデス、保證人モ債務者ノ一人デスカラ混同ノ處ヘ
置キマス、前ノ併合ナドトハ違ヒマス

鶴田委員 保證人總テ附隨ノモノト共ニ消滅スルト云フガ付隨ト云
フノハ主ノコトヲ云フノデシヨウ

栗塚報告委員 保證ノ抵當ハ何カ入テ居タカ知レマセン又保證人ノ
擔保モアツタカ知レマセン

鶴田委員 私ハ主力消ヘテ仕舞フカラ擔保人ガ消ヘルノカト思ツタ
栗塚報告委員 左様ヲハナイデス債務ガ存シテ居リマスカラ保證人
ガアツタモ保證人ガアツタモ質物ガ入テ居タニモセヨ保證ノ付イ
テ居ルモノガアツタナレバト云フノデ御座ヒマス

鶴田委員 宜シウ御座ヒマス

委員長 之モ質問中ダト云フコトデアリマスカラ未定ニシテ先キヘ
行キマシヨウ

本條第二項ハ起案者ニ質問中ニ付未定

第五百六十一條朗讀ス

第六節 履行ノ不能

第五百六十一條 義務カ特定物ノ引渡チ目的トシタル場合ニ於
テ其目的物カ債務者ノ過愆ナク且債務者ノ遲滞ニ在ル前ニ滅
失シ紛失シ又ハ通易スルコトヲ得サルモノト爲リタルトキハ
其義務ハ消滅ス若シ義務カ定マリタル物ノ集合中ヨリ取ルヘ
キ一箇ノ物ヲ目的トシタル場合ニ於テ其何レノ引渡モ不能ト
爲リタルトキモ亦同シ(第一千三百二條第一項)
又爲シ又ハ爲サ、ルノ義務ハ其履行又ハ封止カ右同一ノ條件
ニ於テ不能ト爲リタルトキハ消滅ス

修正案

第一項末段「引渡モ」ヲ「引渡カ」ト改ム

栗塚報告委員 「引渡モ」ハ「引渡カ」ト致シマス

松岡委員 「引渡カ」ハ可笑シイ、マダ「モ」ノ方ガ宜カロウ

栗塚報告委員 ソウスルト後ノ引渡モ不能トナルダロウト見テハ尙

ホ分リマセン

鶴田委員 「總テ」ハナイノデスカ

栗塚報告委員 「總テ」ト云フ字ヲ起案者カ改メテ「如何ナルモノ

、」トシマシタ、土蔵ノ中ニ在ル米ノ内百石アルカ、此内五十石

ヤルト云フ、處カ孰レモ五十石揃ヘルコトガ出來ナイ「何レノ物

ノ引渡カ不能トナリタルトキモ亦同シ」デ御座ヒマス

鶴田委員 「何レノ物カ引渡ニナリタルトキモ」ト云フノタ

栗塚報告委員 左様デス

鶴田委員 「モ」ハ何處カヘ入レ度イ

栗塚報告委員 「何レノ物ノ引渡モ」デモ宜シイ

渡委員 其レデ宜シイ

鶴田委員 左様修正致シマシヨウ

清岡委員 「運滞ニ在ル」ト云フノハ前ニモアリマシタカ

南部委員 元トカラアリマス

清岡委員 運滞ノ前トカ運滞ニ付スル前トカスレハ宜シイ

南部委員 運滞前カ

村田委員 「運滞前」カ宜シイ

鶴田委員 運滞ニ付セラレサル前ト云フノダ

栗塚報告委員 左様デス

渡委員 其方カ宜シイ

南部委員 「付セラレサル前」テ宜シイ

栗塚報告委員 當然遲滞ニ看做サルト云フコトガ次ノ條ニ在リマス
「遲滞ニ在ル」ト云フノデ遲滞ニ付セラル、ト云フコトカ分リマ
シヨウ

清岡委員 分テハ届ルカ、遲滞ニ在ル前ト云フカラ可笑シイ

栗塚報告委員 若シ御注意カアルナレハ標シテ付ケテ後ニ直シマス

松岡委員 四百四條ニ「遲滞ニ在ル」ト云フテアル

鶴田委員 其レテハ一定シテ貰オウ

委員長 先キヘ行キマシヨウ

本條ハ左ノ如ク決ス

第一項 「何レノ引渡モ」チ「何レノ物ノ引渡モ」ト改ム

第五百六十二條朗讀ス

第五百六十二條 若シ債務者カ意外ノ事及ヒ不可抗力ノ損失及
ヒ危險ヲ擔任シ又ハ第三百五拾六條及ヒ第四百四條ニ從ヒテ

民財七ノ六七

或ハ債權者ノ所爲ニ因リ或ハ義務ノ本性ニ因リ遲滞ニ付セラ
レタルトキハ其債務者ハ前記ノ原由ニ因テ義務ヲ免レス（第
千三百二條第二項）

犯罪人爲ノ他人ノ物ヲ返還シ又ハ其物ノ滅失ヲ賠償スルノ責
ニ任スル者ハ當然遲滞ニ在リト看做サル（第千三百二條第四
項）

修正案

「損失及ヒ危險」チ「危險及ヒ損失」ト改ム

栗塚報告委員 「損失及ヒ危險」ハ「危險及ヒ損失」トナラナケレ
ハ分リマセン、之ハ翻譯ノ誤リタロウト思ヒマス原文ニハ「危險
」ガ先キヘ出テ居リマス、末項ノ終リハ「看做ス」トシテ宜シウ
御座イマシヨウ「犯罪ノ爲ノ他ノ物ヲ返還シ」ト云フコトハ三百
八十八條ヲ御參觀ニナレハ分リマス、此本文丈ケハ異議ハアリマ

センカ註ヲ見ルト少シ不都合カ出来マスカラ起案者ニ抵觸シテ居
ルト云フコトヲ云テヤリマシタ、註ニ「當然遲滞ニ付ズルコトハ
確定物ノ外之ナキナリ附遲滞ハ殊ニ之ヲ金額ニ及ボス可カラス蓋
シ金額ニ係ル附遲滞ハ遲滞ノ利子ヲ生スルモノニシテ裁判所へ請
求スルニ非サレハ能ハサルモノトス」トアリマス然ルニ三百八十
八條デハ裁判所へモ何モ訴ヘスニ不當ニ當シタルトキカラ利息ヲ
拂ヘトアリマス、然シテ四百十三條ニハ「遲滞ノ利息ヲ生セシム
ル爲メ必要ナル付遲滞ハ裁判所ニ於ケル其利息ノ請求又ハ債務者
ノ特別ナル追認ノミヨリ生スルコトヲ得但法律カ當然此利息ヲ生
セシムル場合及ヒ法律カ催告ノミニ因リ又ハ之ニ等シキ所爲ニ因
リ此利息ヲ生セシムルコトヲ許ス場合ハ此限ニ在ラス」トアリマ
ス、法律カ當然利息ヲ生セシムルハ三百八十八條ノ場合デス利得
ヲ與ヘルトキヨリ其適法ノ利息カ付クノテ御座ヒマス此方ハ盜賊

ヲシテモ裁判所へ訴ヘテカラテナケレハ利息カ取レヌト云テアリ
マス、其レハ可笑シイデハナイカ現在三百八十八條テハ第一元金
ヲ受ケタルトキヨリ適法ノ利息ヲ取ルトアリマス而シテ註テハ裁
判所へ訴ヘタ上デナケレハ取レヌト云フノハ可笑シイト思テ報告
委員カラ問ヒニヤツテアリマス

松岡委員 弘法モ筆ノ誤リタロウ

渡委員 四百四條ニ從ヒ遲滞ニ付セラレタルト云フノハ遲滞ニ在ル
ト云フテ居ルガ之ハ同シニシテハ如何デス

南部委員 上ニ「所爲ニ因リ」トアルカラ下ハ「遲滞ニ付セラレ」
ト云ハナケレハナラス「遲滞ニ在ル」トハ云ヘヌ

松岡委員 「在ル」ト云フト付セラレタ後チ云フノタ全體之レハ不
能ト責任ト混淆シテ居ル

委員長 「前記」ト云フノハ此初ノノコトヲ云フノデスカ、又ハ前

條ヲ云フノデスカ

南部委員 前條ヲ御座ヒマスカラ「前條」ト改メマシヨウ

渠塚報告委員 「前條」ト直シマシヨウ

委員長 先キヘ行キマシヨウ

本條ハ左ノ如ク決ス

第一項 「損失及ヒ危險」ヲ「危險及ヒ損失」ト改メ「前記」
ヲ「前條」ト改ム

第二項 「看做サル」ヲ「看做ス」ト改ム

第二項ノ註釋ハ三百八十八條ト抵觸ニ付キ起案者ヘ質問スル事
トス

第五百六十三條朗讀ス

第五百六十三條 債務者ハ自己ノ授囑スル意外ノ事又ハ不可抗
力ヲ證スルノ責アリ

民財七ノ六九

若シ債務者カ遲滯ニ在リナカラ第三百五十五條第二項ニ從ヒ
其義務ヲ免ル、爲ノ物カ債權者ノ方ニ在テモ等シク滅失スヘ
カリシコトヲ申立ルトキハ其證ヲ立ツルコトヲ要ス

渠塚報告委員 二項ニ第三百五十五條第二項ト云フノハ此裏ヲ云テ
居リマスカラ報告委員中テモ「裏面ニ從ヒ」トシタラ宜カロウト
云フ論モアリマシタカ三百五十五條ノ二項テハト讀ノ様ガナイト
云フ注意カアリマシテ云フテヤリマシタ處ガ尤ノコトデアルカラ
前チ改メ様ト云フ約束カ出來マシタカラ何レ直シテ參リマシヨウ
ト思ヒマス故ニ刪除ハ致シマセン三百五十五條ノ二項ニハ「然レ
トモ若シ諾約者カ物ヲ引渡スノ遲滯ニ在リ且物カ引渡サレシ場合
ニ於テハ必ラス滅失セサルヘク又ハ毀損ヲ受ケサルヘカリシトキ
ハ其損失ハ諾約者ノ負擔ニ歸ス」トアリマス此處テハ其義務ヲ免
カル、爲ノ物カ債務者ノ方ニ在テモ等シク滅失スヘカリシデ、彼

方ハ消滅シナカツタロウト云フノテ恰度衰チ云テ居ルノテ御座ヒ
マス、向フチ直ソウト云フコトテ御座ヒマスカラ
松岡委員 前チ直サナケレハナラヌ、彼ノ二項ハ求償ノ責ハ權利者
ニナツテ來ル

栗塚報告委員 貴君ノ御説ノアツタ處デス

鶴田委員 此條ハ無クテモ分テ居リマス

松岡委員 矢張り此處ニ云フテ彼方チ直スガ宜シイ

委員長 先キへ行キマシヨウ

本條ハ原案ニ決ス

第五百六十四條朗讀ス

第五百六十四條 債務者カ履行ノ不能ニ因リテ義務チ免レタル
トキハ其債務者ハ己レニ約セラレタル對價物ニ付テハ其履行
ノ爲メ既ニ爲シタル出捐ノ限度ニ於テノミ權利チ有ス

民財七ノ七〇

栗塚報告委員 「捐給」ト云フノチ「出捐」ト直シマシタ、三百十
九條ノ二項ノ「捐給」モ「出捐」ト改ノマス

鶴田委員 幾ラカ品物チヤツテ居ル場合デスネ

栗塚報告委員 例カ御座ヒマス、鐵砲ト云フ物チ拵ヘテモ宜シイト
思ツタ處カ通益物チナクナツテ不能ニナツタ、併シ鐵砲チ造ル爲
メニ鐵ヲ買込タリ何カシタ代ハ頂戴カ出來ル

鶴田委員 ソウスルト出來テ居タ鐵砲カ廢リタルトキハ其地金ノ代
ト賃錢チ取レハ損ハナイ

栗塚報告委員 債務者ハ損チシマセン、債權者カ損チシマス

鶴田委員 勘定ハ此通りナラナケレハナラヌカ知レヌ

栗塚報告委員 併シ物ハ要約者ノ損ナリト云フ理窟チ御座ヒマスカ
ラ

松岡委員 仕様カアルマイ、拂ハヌト云フ譯ニモ行クマイ

鶴田委員 日本ノ裁判ハ是レ迄兩損タロウ權利者ノ出シテ居ル物モ
 其レ限りニナリ、義務者ノ方テヤツテ居ル物モ其レ限りダロウ
 栗塚報告委員 銀治屋カ鐵砲ヲ持ヘル爲ノ既ニ爲シタル限度ダケハ
 代價ヲ貰フコトガ出來ル之ハ種カナ様デス
 南部委員 向ウハ儲ケカナイ
 渡委員 其代ハリニ仕掛ケニナツテ居ル品物ハ取レル
 南部委員 鐵タナハ取レマス
 清岡委員 對價物ト云フノハ品物デスカ
 栗塚報告委員 金ヲ御座ヒマシヨウ、併シ金デナク外ノ物ヲヤルト
 云フコトカアルカ知レマセン
 清岡委員 ドウモ困ル、價ニ對スル物ニ付テト外讀ミハセヌ
 鶴田委員 値段ニ對スル物トハ違ヒマスカ
 栗塚報告委員 私ノ儲ニ對スル物デス

鶴田委員 貴君ニ鐵砲ヲ持ヘルコトカ願ンテアル鐵砲カ百圓
 栗塚報告委員 即チ其百圓デス
 鶴田委員 百圓ニ對スル鐵砲ヲハアリマセンカ
 栗塚報告委員 鐵砲ヲ持ヘレハ書物ヲヤルト云フコトガアルカ知レ
 マセン
 鶴田委員 「對價ニ付テハ」デ宜シイ
 南部委員 鐵砲ニ對スル金デス
 清岡委員 價ニ對スルト外讀メナイ
 栗塚報告委員 反對ノ有價物ト御讀ミナスツタラ宜シウ御座ヒマシ
 ヨウ
 委員長 「對價」ト云テ「物」ト云フ字ヲ取タラ宜カロウ、「物」
 モ中ニ籠ツテ居ルト見レバ宜シイ
 栗塚報告委員 對價テモ宜シウ御座ヒマス翻譯ヘ相談致シマシヨウ

鶴田委員 對價ヲ宜シイ

栗塚報告委員 跡テ代價ノ間違イデハナイカト云フ様ナコトヲ云ヒ

ソウデス

鶴田委員 對等ノ貨物ダナ

委員長 先キヘ行キマシヨウ

本條ハ左ノ如ク決ス

「對價物ニ付テハ」ヲ「對價ニ付テハ」ト改ム

第五百六十五條朗讀ス

第五百六十五條 物ノ全部又ハ一分ノ滅失ノ場合ニ於テ若シ債

務者カ其滅失ノ爲メ第三者ニ對シ或ル補償訴權ヲ有スルトキ

ハ債權者ハ物ニ付キ殘ル所ノモノヲ要求シ且右ノ訴權ヲ行フ

コトヲ得「第一千三百三條、伊民第一千二百九十九條」

村田委員 「全部」ト云フノハ可笑クハアリマセンカ全部テハ讀切

レス様ダ

栗塚報告委員 直シテ參ツタノデス

村田委員 ソウスルト「殘ル處ノ物」ト云フノハ可笑シイ、全部ノ

物カアレハ處ノ物カ出ヨウハナイ

栗塚報告委員 ソウテス、自カラ一分ノ物バカリニナリマス殘ル處

ノ物ヲ要求シ「又ハ」ヲ原文デ「且」ト直シテ參リマシタ

鶴田委員 補償權ヲ義務者カ持テ居ル

栗塚報告委員 之ハドウシテモ物ノ全部一分ハ私ノ家ヲ貴君ニ賣ル

ト云フトキニ私カ滅失ノ爲メニ第三者ニ對シテアル補償訴權ヲ有

スルトキ第三者ナル松岡サンカ私ノ家ニ火ヲ放ケテ燒イタ、ソウ

スルト貴君ニ家ヲ賣ツタニ付イテ貴君ハ物ニ付キ殘ル處ノ物ヲ要

求シ燒ケタ丈ケチヨコセ又松岡サンニ對シテノ私ノ持テ居ル補償

訴權ヲ貴君カ行ウ、扱如何ナルトキニ此訴權ヲ貴君ニ出來タリ私

ニ作り出スコトカ出來ルカト云フニ賣買ハ所有權カ移轉スル然ルニ私カ家ヲ賣レハ貴君カ補償權ヲ行ヘハ私ハ行ウコトハ出來ナイ私カ所有權ヲ行ヘハ貴君ニ行ヘナイ孰レカニツノ一ツデス、又所有權カ移ツテ居ラナケレハ栗塚ガ持テ居ルノタカラ、栗塚カ松岡サンニ向テ補償訴權ヲ行ヒ、鶴田サンハ右ノ訴權ヲ行フコトヲ得ト云フノデ直接ニ松岡サンニ係ツテ行キマス若シ鶴田サンカ行ハスト云ヘハ栗塚ハ行フ事カ出來ナイト報告委員カ諭シテヤリマシタ處カ未タ返事ハ來マセン

松岡委員 私カ起案者ナレハ確定物ヲ家ヲ渡ス場合ナレハ其レカ宜シイカ前條ニ在リマスカラ先キヘ仕掛ケテ行ク仕事デ、迷ニ本體ノ物ヲ取ル利益ハ失フ唯自分ガ出損シタ處ノ限度ハカリテ錢ヲ取ラナケレハナラヌ場合ニナルト大變損チスル譯ニナル、其レ故ニ其債務者モ自ラ其義務執行ノ方法ヲ爲シタ第三ノ人ニ對シテ賠償

民財七ノ七三

ノ訴權ヲ行フ

栗塚報告委員 二人リノアリ様ハナイ如何シテモ起案者ノ不調法タロウト思ヒマス

鶴田委員 御丈モデスガ私ガ「ボアソナード」ノ説ニ左袒シテ云ヘハ不能ト云フ方ハ詰リ自分カ過テハナク又遲滯ニ付セラレサル前テス、ト云フノハ自分ノ注意力足ラヌトカ或ハ物カ延引シタルトキハ品物ハ權利者ニ移テ居ルケレトモ保存スル義務ハ品物ニ付テ殘テ居ルノチ松岡サンノ様ナ悪戯カ來テ毀ハシタ、貴君ヲ權利者ト見レハ毀シ質チ私カラ取ラレテモ仕方カナイ、松岡サンカ毀ハシタト云テモ松岡ト云フ者ハ知ラヌト云ハレテモ仕方カナイソウスルト品物ヲ御返ヘシ申シテ毀ハレ質チ貴君ニヤルガ松岡サンニ對シテハ御前カ毀ハシタ爲メニ毀ハレ質チ取ラレタカラ私ニヤツテ呉レト云フコトカ云ヘル其レチ捷徑ニシテ毀ハレ質チ松岡サン

ニ取テ吳レト云フト貴君ハ松岡サンカラ取レルト云フ旨意タロウ
ト思ヒマス

栗塚報告委員 貴君カラモ訴權カアリ私カラモ訴權カアルト云ヘル

松岡委員 鶴田サンニサセテ置クト鶴田サンカ賣力ガ少ナイ、松岡
サンカラ取テモ鶴田サンノ外ノ債主ハ

鶴田委員 此處ハ所有權ニ補償權カ付イテ參ラレテモ引分ケテ權利
者ニ引クト云フコトニスレハ論ハナイト思フ

渡委員 鶴田サンノ解釋ノ如クニ依レハソウモ讀ノル

南部委員 補償斷權ヲ債務者カ約シテ居ルカ行フコトハ出來ナイ行
フノハ債務者カ行フ

鶴田委員 行フコトハ出來マス人ノ物ヲ保存シテ居ルノチ他カラ毀
ハサレタラハ其補償ヲ第三者カラ取レル捷徑ダ直クニ債權者ニ移
シテ宜シイ

民財七ノ七四

南部委員 「ボアソナード」ハ移スノハ惡イト云テ居リマス

鶴田委員 法律デ自然ニ移テ宜シイト思フ、權利者ガシナイトキハ
債務者モ持テ居ル所有權テナイ保存權ニ對シテ惡戯ヲシタノタカ
ラ

尾崎委員 兩方ノ内ノ一方カラ行テ宜シイ

渡委員 若シ債權者カ有スルナレハ債權者ハ物ヲ受取ルト同時ニ行
フカラ鶴田サンノ解釋ガ或ハ當テ居ルカ知レヌ若シ何レカニ在ル
ト云ヘハ有スルト云ハナケレハナラヌ、行フコトヲ得ルト云フノ
ハ債權者カ出來ルト云フノダ

松岡委員 之ハ「ボアソナード」ノ返事ヲ聞イテカラ讀スコトニシ
マシヨウ

尾崎委員 兎ニ角聞ヒテカラガ宜シイ

松岡委員 前條ハ不明瞭ノ様ニ思フモノヲ判然書キ過キタノデ、裁

務ヲ免カレタルト云フノハ何處ニ當リマスカ

南都委員 六十一條デス

松岡委員 特定物ナレハ大概取レルノテスネ

栗塚報告委員 義務ハ消滅シマス

松岡委員 義務ハ消滅シテモ代金ハ取レマシヨウ

栗塚報告委員 其レヲ六十四條テ云ツテ居ルノデス

栗塚報告委員 家ヲ賣リタルトキ其賣リタル人ノ過チニモ非ラス引

渡ヲ遲滞ニ付シタノテモナク焼ケテ仕舞ツタカラ代金ハ取レルデ

シヨウ

栗塚報告委員 左様デス

松岡委員 ソウスルト代金ハ取レルカ不確定ノ集合中ヨリシタ物テ

モ皆焼ケタラ代金ハ取レル、此處ノ米十俵賣ルト云フトキ百俵焼

ケレハ取レル、註テ云フト分ルカ本文デハ分ラナイ

民財七ノ七五

栗塚報告委員 確定物トカ集合物ノ一ツカラシテヤツタトキハ所有
者ノ損ニナル

南都委員 其レハ致テ云フ處デナイ

鶴田委員 矢張り造り掛ケノ物タ、賣買ノトキカラ物カ移ツタト云

フト讀ノナイ

栗塚報告委員 大工カ家ヲ建テ掛ケテ其處カ公用地ニナツタトキハ

木材ノ代ハ取レマシヨウ

松岡委員 其レハ分テ居ル

委員長 之ハ返事ノアツタ後ニシマシヨウ

本條ハ起案者ニ質問中ニ付回答ヲ缺テ議スルコトトシ未定

于時午後零時十五分休憩

民財七ノ七六

午後第一時三十分開議

委員長 初ノマシヨウ

第五百六十六條朗讀ス

第七節 銷除即チ無効

第五百六十六條 無能力者ノ契約シタル義務又ハ債權ニ因テ承諾チ與ヘ他ノ一方ノ強暴ニ因テ承諾チ賺取セラレ若クハ其醜態ニ因テ承諾チ騙取セラレタル人ノ契約シタル義務ハ五ヶ年間ニ在テハ或ハ是等ノ者又ハ其代人ノ請求ニ因リ或ハ履行ノ訴ニ付キ是等ノ者ヨリ對抗シタル無効ノ抗辯ニ因リ裁判上ニテ銷除セラレ即チ取消サル、コトヲ得(第一千三百四條第一項) 同一ノ期間ハ折損ニ付テノ銷除訴權ノ行用ノ爲メ又ハ折損ノ抗辯チ對抗スル爲メ成年者ニ許與セラル但法律カ右ノ訴權又ハ抗辯チ一層短キ期間ニ制限シタル特別ノ場合ハ此限ニ在ラ

ス

修正案

第一項 「或ハ是等ノ者」ノ上チ左ノ如ク修正ス

「無能力者又ハ錯誤ニ因テ承諾ヲ與ヘタル人又ハ他ノ一方ノ強暴ニ因テ承諾ヲ賺取セラレ若クハ其曉諭ニ因テ承諾ヲ騙取セラレタル人ノ契約シタル義務ハ五ヶ年ノ間ハ」

第二項 「銷除訴權ノ行用ノ爲メ」チ「銷除訴權ヲ行フ爲メ」ト改メ「對抗」チ「援唱」ト改ム

栗塚報告委員 少シク修正致シマシタ

松岡委員 其代人ト云フノハ法律上ノ代人カネ

南部委員 無能力者ノ代人デス

栗塚報告委員 二項モ修正ガ御座ヒマス

南部委員 「抗辯ヲ爲ス爲メ」デモ宜クハナイカ

民財七ノ七七

渡委員 其レテ宜カロウ

松岡委員 例サニ云テ來ルカラ「何々ニ許與セラル、」ト云フノハ

可笑シイ

栗塚報告委員 「抗辯ヲ爲ス爲メ成年者ニ許與シ」テ御座ヒマス

清岡委員 抗辯ヲ爲ス爲メテハ足ラヌ様ダ

栗塚報告委員 抗辯ヲ言ヒ立ルノテ御座ヒマスカラ援唱スルト致シマシヨウカ三百六十九條ニ在リマス、折損ヲ援唱スル爲メト云フノテ御座ヒマス併シ抗辯ガナイト云フコトヲ懸念シテ居リマシタカ、折損ヲ援唱スルト申セマスカラ

清岡委員 折損ハ援唱スルカ宜シイガ、抗辯ハドウデシヨウ

栗塚報告委員 折損ノ抗辯ト云フノハ裏カラ云タノデス今度ハ此方カラ云ヒダシタノデナイ、向ウカラ何カ云ヒ出シテアルト折損カアルト云ツテ向ケ付ケルノテ御座ヒマス

松岡委員 此處ハ矢張り向付ケルノダカラ對抗トシテ、後ニ「對抗
」ト云フ字ヲ直シテ實フガ宜シイ

栗塚報告委員 向フカラ來タトキ折損ヲ以テ抵抗スルト云フノデ御
座ヒマス

南部委員 前ニ「對抗シタル無効ノ抗辯」トアルカラ矢張り「抗辯
」ヲ對抗スル爲メ「デナケレバナリマセン

栗塚報告委員 「對抗」トシテ置イテ後ニ殘ラス「對抗」ノ字ヲ直
スコトニ致シマシヨウ

鶴田委員 矢張り前ノ「對抗」モ「援唱」カ宜シイ

栗塚報告委員 折損ノ受ケ太刀チ向ケ付ケルト云フノデス

清岡委員 特別ノ場合ト云フノハ如何ナル場合チアリマスカ

鶴田委員 「銷除」ト「取消」ハドレ程違ヒマスカ

南部委員 同シコトデス

鶴田委員 ニツ書カナケレハナラヌカネ

松岡委員 「裁判上ノ銷除即チ取消スコトヲ得」トシタラ宜カロウ
委員長 其方カ宜シイ様ダ

南部委員 裁判上ニテ銷除即チ取消サル、ト云フコトデス

栗塚報告委員 清岡サンノ御尋ネハ此處ハ起案者カ是レ丈ケノ餘地
チ取テ後チニ賣買篇デ例外チ出シテ居リマス、之ハ五年トシテア
リマスカ、二年カ三年ダソウデ御座ヒマス、裁判上ニテ銷除即チ
取消サル、ト云フコトデス

松岡委員 「取消スコトヲ得」宜カロウト思フ、人ガ云フテ取消
スノデスカラ

鶴田委員 裁判所カ取消スノダロウ

栗塚報告委員 裁判所ニ訴ヘテ取消スコトヲ得ト云フノデ御座ヒマ
ス

松岡委員 「裁判上ノ銷除即チ取消スコトヲ得」

南部委員 「之ヲ銷除即チ取消スコトヲ得」

松岡委員 「ニテ」ヲ止メテ「裁判上之ヲ銷除即チ取消スコトヲ得」トシタラ宜カロウ

トシタラ宜カロウ

村田委員 「之ヲ銷除シ」ト云ハヌト可笑シイ

栗塚報告委員 其方カ宜シウ御座イマシヨウ清岡サン、六百九十一

條ニアリマス

南部委員 其レハ解除ダロウ

鶴田委員 之レハ訴ヘル期滿免除ダ

栗塚報告委員 銷除ノ請求ハ六百八十條ヲ御座ヒマス

渡委員 「銷除シ」カ宜カロウ

松岡委員 「履行ノ訴ニ付キ」ト云フノチ「對シ」ト直ラヌカ

南部委員 對抗シタルト云フコトガアル

民財七ノ七九

栗塚報告委員 或ハ是等ノ者ヨリ履行ノ訴ニ對抗シタルダカラ

南部委員 此此方カ分ル

委員長 先キヘ行キマシヨウ

本條ハ左ノ如ク決ス

無能力者又ハ錯誤ニ因テ承諾ヲ與ヘタル人又ハ他ノ一方ノ強暴ニ因テ承諾ヲ賺取セラレ若クハ其詭譎ニ因テ承諾ヲ賺取セラレタル人ノ契約シタル義務ハ五ヶ年ノ間或ハ是等ノ者又ハ其代人ノ請求ニ因リ或ハ履行ノ訴ニ付キ是等ノ者ヨリ對抗シタル無効ノ抗辯ニ因リ裁判上ニテ之ヲ銷除シ即チ取消スコトヲ得
同一ノ期間ハ折損ニ付テノ銷除訴權ヲ行フ爲メ又ハ折損ノ抗辯ヲ對抗スル爲メ成年者ニ許興ス但原案ノ通り

第五百六十七條朗讀ス

第五百六十七條 此時効ノ期間ハ強暴ノ場合ニ於テハ其強暴ノ

止ムマテ錯誤ノ場合ニ於テハ其錯誤ヲ認メ知ルマテ詭譎ノ場
 合ニ於テハ其詭譎ヲ見出スマテ無能力ノ場合ニ於テハ其無能
 力ノ止ムマテ停止セラルル（第一千三百四條第二項及ヒ第三項）
 然レトモ喪神ノ爲メノ禁治産者又ハ瘋癲者ト爲シタル合意ニ
 關シテハ此時効ハ是等ノ者カ能力ヲ恢復シタル以來其承諾シ
 タル所爲ノ要旨ノ通知ヲ受ケ又ハ其所爲ヲ知リタル後ニアラ
 サレハ經過シ初メス（一千八百三十八年六月三十日ノ佛法律第
 三十九條）

法律上治産ヲ禁セラレタル處刑言渡サレ人ニ關シテハ無効ノ
 訴權及ヒ抗辯ハ其者ノ爲メニモ又之ニ對シテモ其刑期満了以
 後ニアラサレハ時効ニ係ラス

成年者ノ折損ノ場合ニ於テハ時効ハ契約ノ時ヨリ經過シ始メ
 其他免責時効ノ停止及ヒ中断ノ通常ノ言由ハ此時効ニ之ヲ適

用ス

修正案

第三項 「處刑言渡サレ人」ヲ「處刑人」ト改ム

栗塚報告委員 「處刑言渡サレ人」ヲ「處刑人」ト修正致シマシタ

松岡委員 其レテ宜シイ

栗塚報告委員 「其止ム迄」テハ分リマセンカ

南部委員 「其」デハイケマイ

清岡委員 「喪神」ト云フノハ分ラヌ

鶴田委員 「心」ト云フ字デハナイカ

鶴田委員 「神」ノ字ハ精神病ト云フ處カラ來タノダロウ

清岡委員 「神」ト云フ字バカリ使フノハ無理ダ

鶴田委員 其所ニ書イテアル「萬物喪心」ナドト云フノハ心ノ字カ
 書イテアル

栗塚報告委員 心ハ愛ノ出ル源、精神ハ知慧ノ出ル源デ、心ヲ喪ウ

ト愛情ガナイ精神ノナキ者ハ馬鹿ダト思テ居リマス

南部委員 其レナラ喪精神ナラ宜シイ

栗塚報告委員 ぶけるト云フ字デス

村田委員 知覺精神ノ喪失シタル者ダ

鶴田委員 知覺ヲ失フト云フト神心不隨ノ様ニナル捕レテモ痛サヲ

覺ヘナイ様ナコトヲ云フ矢張り「心」ダ、「經過シ初ノズ」ハ「

經過ヲ初ノズ」デハドウダロウ

栗塚報告委員 「經過」ト云フノハ一ノ名詞デ此處ハ動詞デ御座ヒ

マスカラ「經過ヲ初ノズ」デモ宜シイ「喪神」ノ字ハ翻譯ニ間ヒ

合セマシヨウ

清岡委員 「禁治産」ト云フ字ハ云ヒ惡イ

南部委員 之ハ始終使ツテ居リマス

民財七ノ八一

松岡委員 之ヲ見ルト瘋癲者ハ禁治産者デハナイ様ダ

栗塚報告委員 瘋癲者ハ必ラス禁治産デス喪神ノ爲メ禁治産ノ者テ

ス

村田委員 瘋癲ノアルカ爲メニ治産ノ禁ヲ取ラレタル者トアルカラ

兩方ダ

栗塚報告委員 原文ニハ然レトモ喪神ノ爲メニ治産ノ禁ヲ受ケタル

者トアリマス

松岡委員 喪神ト云フノハ一時ノ喪神モアロウガ瘋癲ハ永久ノ瘋癲

デスカ

栗塚報告委員 左様デス、之ハ人事篇ニ譲テ御置キニナレハ宜シイ

ノデス

松岡委員 瘋癲者ニナレハ法律上テ禁治産ガ起ラナケレハ瘋癲者ト

云フ認メガ付カヌ

栗塚報告委員 瘋癲者ト云フノハ禁治産者ト云フノト同シテス

松岡委員 直譯ノ方テハ若シ其レカ己レニ反スルトキハ白痴瘋癲ノ爲メニ禁治産者又ハ精神錯亂者ダロウ

栗塚報告委員 精神錯亂者ハ瘋癲者デス

松岡委員 「デマンス」ハ

栗塚報告委員 「デマンス」ハ喪神トヤリマシタ

松岡委員 一時ぶけタモノモ永久ぶけタノモ入ルダロウ

栗塚報告委員 ソウテ御座ヒマス此處テ瘋癲者ト云フノハ禁治産カ

入ラヌカト云フ御心配ハ入りマセン屹度入りマス唯喪神ノ爲メニ

ハ禁治者デナイノモアリマスカラ喪神ノ爲メニ禁治産者ト書イタ

ノテ御座ヒマス

松岡委員 喪神ノ爲メ禁治産者瘋癲ノ爲メト書ケレハ宜シイ

鶴田委員 老人ノ禁治産ハ此中ニ入りマセンカ

栗塚報告委員 入りマセン

松岡委員 外ノ人ヲ保護スル爲メニ浪費者カ契約シテモ後見者カ出テ來テ止メル様テハ第三者ヲ害スル

栗塚報告委員 瘋癲ト同一ニ外入レラレマセン

鶴田委員 其レト爲シタル契約ハ本契約ト看做サル、ト治産ヲ禁シ

タ功ガナイ

松岡委員 喪神者ノ内ニ浪費者カ入ルダロウ

栗塚報告委員 入りマセン

鶴田委員 此處等ハ入レタ方カ宜シイ

栗塚報告委員 日本テ浪費者ノ定メ方次第テス人事篇ノコトハ人事篇ノコトダカラ私ハ知ラヌ、此處テ浪費者ノコトヲ定メルノカ良イトハ一概ニ云ヘヌ、佛蘭西テハ其レニ係タ箇條ガアルガ、日本テハドウスルカ分リマセン

鶴田委員 私ノ考デハ浪費者ハ治産ノ禁ヲ受ケタ方ガ宜カロウト思ヒマス

栗塚報告委員 浪費者ノ権限ノ定メ方一ツデス、佛蘭西テハ訴訟ヲスルコト和解ヲスルコト動産ヲ借ルコト、受取ルコト、交易ヲスルコト、賣ルコト、買ニ入レルコト是等ノ事ハ總テ補佐人ノ助ケヲ借ラナケレハ出来マセン此後見無クシテ爲シタル事ハ幼年者ノ爲シタル通りニスルト云フテアリマスソウスルト無能力ノ止ム迄ノ方ニ入リマス

鶴田委員 免責時効ノ停止中断ノ理由ハ

栗塚報告委員 此時効ガ中断サレタリ又ハ中止ニナルノハ免責時効ノ理由ヲ用フルゾヨ證據篇ノトキノ時効ノ理由ハ此處ニモ當儀ノルゾヨト云フノデ御座ヒマス

松岡委員 浪費者デモ治産ノ禁ヲ受ケレハ之ト同シニナラヌモノカ

民財七ノ八三

ホ

栗塚報告委員 浪費者ハ治産ノ禁セラレナイノデス、唯補佐人ガ付クバカリデス

委員長 先キへ行キマシヨウ

本條ハ左ノ如ク決ス

第二項 「喪神」ノ二字ハ未定

第三項 報告委員ノ修正ニ決ス

第五百六十八條朗讀ス

第五百六十八條 若シ無効訴權ヲ有シタル人カ前記ノ期間ノ満了以前ニ死亡シタルトキハ訴權ハ其相續人ニ移ル

右ノ訴權者ハ相續人ニ對シテハ若シ期間カ死者ニ對シ未タ經過シ始メサリシトキハ相續人ノ權利開始ノ時ヨリ又反對ノ場合ニ於テハ未タ經過セサル殘期ヲ以テ時効ニ係ル一伊民第千

三百十二條

修正案

第二項 「相續人ニ對シテハ」ヲ「相續人ニ付テハ」ト改ム

栗塚報告委員 「訴權者」ハ「訴權」トナリマス之ハ寫字ノ誤リテ

御座ヒマス「相續人ニ對シテハ」ヲ「相續人ニ付テハ」ト致シマ

ス「殘期ヲ以テ時功ニ係ル」ハ餘程修正シ様ト思ヒマシタカ、良

イ修正ガ出來マセンデ此儘ニシテ置キマシタ

村田委員 「前記ノ期間」ハ「前條ノ期間」ト修正シマスカ

栗塚報告委員 分ル處ハ「前記」デ宜シウ御座ヒマシヨウ

松岡委員 同シニシタテ宜カロウ

南都委員 前ノ條デ御座ヒマス

本條ハ報告委員ノ修正ニ決ス

栗塚報告委員 今日ノ分ハ是レ迄ヲ終リマシタガ是レカラ前ノ報告

ガ御座ヒマス

第四百八十八條 強制通用ノ件

今村報告委員 四百八十四條ハ商法ノ方ヲ調ヘテ見マシタ處ガちん

ちん鳴ル金ト強制通用ノ紙幣ト強制デナイ紙幣ハ官ノ物テ其外銀

行ノ紙幣ト四通リノ内デ債務ガ勝手ノ物ヲ用ヒテ宜シイ其土地デ

通用スルモノデ他ノ眞ノ金ト金額ヲ持テ居ル物此二ツノ條件サヘ

アレハ銀行ノ紙幣デモ宜シイ「ボアソナード」ニ關イテヤリマシ

タ處ハ商法ノ方デハ此四ツデ勝手ニ出來ルガ民法デモ此四ツニシ

度イト云フテヤリマシタ處ガ民法ハ商法ト一ツニハナラヌ如何ト

ナレハ外ノ金ト金額ヲ持テ居ルヤ否ヤハ商賣人ナラハ知ルコトガ

出來ルガ民法デ支配サレル一般ノ者ハ此紙幣ハ金額ヲ持テ居ルヤ

否ヤハ分ラヌ、又商人ハ直チニ手渡シスルコトモ容易デアルガ、

一般ノ人民ハ受取テ他ヘヤルコトガ容易デナイカラ民法デハ出來

ナイト云フ返事テ御座ヒマス

南部委員 強制通用ノ外ノ紙幣ヲ以テ無理ニ渡スコトハ出来ナイ

今村報告委員 英文ニ翻譯シテアル商法ヲ寫シテ「ボアソナード」ニ送リマシタカ其レニ「エツブル、レガール、テレブル」ト云フコトガアリマシタ、然シテ強制通用デナイモノハ如何ナル物ダロウ、受取ラナイト云フコトガ云ヘルダロウ

委員長 民法ナレハ云ヘルカ商法ノ様ニ書イテアツテハ受取ラヌトハ云ヘナイ

今村報告委員 此モノハ強制デアル、此モノハ強制デナイト定メテアルニ之ハ強制デナイト云ヘル

委員長 商法デハ云ヘナイ

今村報告委員 即チ其レガ強制ニナルノデ、法律ガ取ラセヌト云フコトヲ云ハナケレハ其レハ強制ニナルノデス

委員長 其土地ニ於テト云フコトガアル

今村報告委員 一體ノ旨意ハ商法デハ定メテモ宜シイカ、民法テハ定メテハナラヌト云テアリマス

清岡委員 然ルトキハ義務ハ免カレヌ様ニナル、却テ保護チシ様ト思テ出来ナイ

鶴田委員 金貨ガ兌換紙幣ト定マルノダ

栗塚報告委員 他ノ者テモ義務チ免カル、コトノ出来ナイコトハアリマセンガ債主カ否ト云ヘル

松岡委員 廣ク命令シテアルモノハ強制ノ様ニ云ツテアル、「ロエスエル」ハ戦争ノトキニ用ユルノガ強制ノ様ニ云フテアル、此處ニ云フ「ボアソナード」ノ強制ハ法律カ國民ニ向テ租税ニモ何ニモ通用スルト云フノガ強制通用ト見ルノダ、法律デ命シタ物ノ外ハ誰テモ否ト云フコトガ云ヘルダロウ

尾崎委員 銀行ノ紙幣モ強制ノ中へ入レテ宜シイ

今村報告委員 日本ノ今ノ紙幣ハ強制ノ様ダ

尾崎委員 税關デハ通ラヌダロウ

鶴田委員 税關デモ何テモ通ルノガ強制ダロウ

尾崎委員 税關テハ銀行ノ紙幣ハ通ラヌ

今村報告委員 銀行ノ紙幣ト云フコトモ日本ノ銀行ニ限ルカ、或ハ

外國ノ銀行テモ宜シイカ、上海「バンク」ノ如キハ如何ダロウト

聞イテヤリマシタ

鶴田委員 商法ハ何處ノモ入ル、上海デ取引チスレハ無論通スル様

ニ出來テ居ル

今村報告委員 假令ハ横濱デ拂チスルニハ

鶴田委員 其レハイケナイ

今村報告委員 通用モシ、且金額チ持テ居ルカ知レヌ

松岡委員 上海「バンク」ノ紙幣ガ横濱へ來テ通用スルト云フ譯ニ
ハ行カヌ

今村報告委員 通用ガアルト云フノハ法律上ノ通用デナイ、實地ノ
通用カアツテ金額ノ用ヒト書ヒテアル、然ウスレハ上海「バンク
」ノ紙幣デモ横濱デ通用シナケレハナラヌ

松岡委員 ドノ商賣人デモ伊太利トノ爲換ガアルト云テ他ノ商賣ニ
向付ケルノハ如何ナルモノダロウカ

栗塚報告委員 銀行ノ信用ガアレハ行ハセテ差支ナイガ、法律上デ
強制シテ用ヒサセルト云フコトハ出來ナイ

委員長 他ノ國ノ紙幣チ認ムヘキモノデナイ日本國文ケノ紙幣チ認
ムルノダ

今村報告委員 商法ハ民法ニ用ヒラレヌト云フ理由ノ内ニ金額チ持
ツト云フコトハ今日金額チ持ツテ居ルモノガ明日下落スルカ知レ

又、商賣人ハ下落シテモヤリ繰リガ付クガ非商人ハ其様ナコトハ
出来ナイ、強制通用デナキモノデ今日ハ外ノ弗ト同ジ相場ヲ持テ
居ルカ知レヌガ明日ハ下落シテ來ルカモ知レヌ、商人ハ其處ニ猶
豫ガ付クガ、素人ハ付カヌ

松岡委員 「ポアソナード」モ商法ヲ攻撃スル氣味ガアルダロウ、
其レハドウデモ良ヒトシテ此處デ疑ヒノ起ツタノハ強制ト云フノ
ガ氣ニ入ラナイ、強制ト云フメハ「ロエスレル」ガ書イタノハ戰
争トカ何トカ云フ時分ニ政府カ曲ケ付ケテヤルノダカラ通常ノ流
通紙幣ヲ以テ強制通用ト云フ字ヲ付ケルノハ悪ルイト云フ論デア
ツタ、「ポアソナード」ノハ法律デ國民ニ通用ヲ許スモノゾト命
ジタモノハ即チ強制通用ト見テアル、今日ノ紙幣ハ勿論銀行ノ紙
幣デモ政府ノ貨幣ニ匹敵スル力ガアルカラ租稅デモ何デモ通用ス
レハ強制ト見テ宜シイ

民財七ノ八七

渡委員 民法デハ其レデ通テ宜カロウガ商法ノ強制通用トハ頭マカ
商法デハ分ケテアルカラ

今村報告委員 商法デモ法律力之ヲ通用ト云タモノハ強制通用ニナ
ル

渡委員 商法ノ強制通用ハ事變ニ際シテ一時通スルモノト云フ積リ
デ書イテアルカラ之ト付キ合ハヌ、商法ヲ此方ニ合セレハ都合ガ
宜シイガ之ヲ商法ニ合セレハ強制通用バカリダト通ラヌ品物ガ出
來ル執レカーツニナラナケレハナラヌ

今村報告委員 商法テハ戰爭ノトキデナクシテ法律上否ト云フコト
ノ云ヘナイモノハ何ト云フダロウ

渡委員 「ロエスレル」ノハ強制通用ト金額ヲ以テ通用スル紙幣ト
アル

今村報告委員 否ト云テモ取ラナケレハナラヌカ

渡委員 金額トアルカラ取ラナケレハナラヌ若シ明治十四、五年頃
ノ紙幣ナレハ通用スルコトハ出来ナイ併シ政府デ一圓ハ一圓ニ通
スト云フ説ト金額ヲ有サナイ紙幣ハナイト云フ論トアツタ
今村報告委員 金額ト云フ目安ノ通ル處ハ抑モ何デアル金貨ガ本位
ナレハ金位ニ依ラナケレバナリマセン、本位ノ物ニ比較テ取テ金
額ト云ハナケレハナラヌ

渡委員 「ボアソナード」ノ旨意ハ政府カラ發シタモノハ何デモ箇
デモ一圓ハ一圓ニ通ラナケレハナラヌ

今村報告委員 法律カ定ノルニ通用ノ品物ト定ノルノガーツト、其
レカラ持テ來レハ否ダト云ハレヌノガーツアル、佛蘭西ノ紙幣ハ
流通ノモノタケレトモ強制トハ言ハヌ、獨逸ト戦争ノトキハ強制
ト云フコトヲ付ケタカラ誰デモ否ト云フコトハ出来ナイト其レカ
ラ四、五年経テ強制ヲ解イテ通用シテ居ル

委員長 日本ノ兌換ナドハ強制トハ云ヘヌ

栗塚報告委員 兌換銀券ハ強制カト云フト「ボアソナード」ハ左様
デハナイト申シマシヨウ

委員長 日本ノ眞ノ紙幣ハ兌換ヲ除イタラ外ニハナイ

渡委員 「ボアソナード」ノ返書ノ旨意ニ依レハ商人ナレハ金額デ
通用スルト否ヤトハ直チニ分ル又其レヲ取テモ容易ニ他ヘ移スコ
トガ出来ルガ外國人ハ其レヲ見分ケルコトガ難イニ因テ箇様ニ書
イタカト云フト其反對ニ出テ此法文テハ兌換銀券ヲ義務ヲ免カル
、コトハ否ダト云フコトガ云ヘル、然ル處ガ兌換ヲ否ガルノハ強
制通用デナイカラ否ダト言ヘルガ、兌換銀券ハ持テ行ケハ直クニ
換ヘテ呉レル、ソウスルト「ボアソナード」ノ書イテアル結果ガ
實價ノ上デハ免レ難イ

栗塚報告委員 實際行ハレテ下落スルトキハ通用セスシテ良イトキ

ハ漸々通用スル

委員長 直クニ引換サヘスレハ其レハナイ

今村報告委員 若シ大變ナ戦争ガアツテ兌換銀券チ出シテ引換ヘナイトキハ

渡委員 其レハ政府ヲ信用セヌト云フ論デアルカラ其レハ止メテ委員長 政府ガ認メテ此銀行ニ幾ラノ紙幣チ發行サセルト云フコトヲ認メル

渡委員 成程銀行ガ政府ノ紙幣ト換ヘルコトニナル
今村報告委員 銀行ガ潰レカ、ツテハイケナイ

渡委員 ソウスルト結果ハ同ジニナル
委員長 少シ違ウ、商法ハ明カニ書イテアル民法テハ掲ケテ行カヌト云フノテス、若シ否ムモノガ居テ之ハ否タト云フト矢張り強制通用ノ物チ出サナケレハナラヌ

民財七ノ八九

栗塚報告委員 其レト今一ツ裏ヲ見テ現實下落シテ居ルカ如何ト疑カアツテモ取ラナケレハナラヌコトハ商人ニ非サルモノガ之ハ金額ガアルノダロウガ近頃ハ銀行紙幣ノ相場ガ悪ルイト云フ疑ヒチ以テ通ラナケレバナラヌ

南部委員 私ナドハ總テノ金額チ有スル、有セント云フ差別チ通常ノ人ニ付ケサセルノハ餘程危イコトデアル、其レヨリ實際通用スレハ極メテ良イ内ノ悪イ物チナケレハ拒ムコトハナイカラ強制通用チナケレハ義務チ免カレヌト云フコトカ

渡委員 法律チ定メル者ガ減多ナコトチ云テハナラヌ
南部委員 民法チ見テ民法通りニヤルモノチナク、若シ拒ンダトキニ民法ガ出來ル

渡委員 成ル可ク融通ノ付ク様ニシタラ宜カロウ、抗拒スルノデアロウガ、強制通用ト云フト起案者ガ之デ何デモ行ケル、兌換銀券

モ無論差支ナイト云フダロウガ強制通用チ有スル紙幣ニ限ルト云
フト其差支ノ廉ハ其レチ以テ義務チ免カル、ト云テモ唯出來テ來
ル

南部委員 銀行紙幣ヲ持テ行キ銀行紙幣ガ通常ノ金ト同シ價值ノア
ル場合ニ拒ミタルトキハ如何スルカト云フ疑ガアレハ拒ム譯ハナ
イ

渡委員 強制ト云フコトチ「ロエスレル」ノ書イテ居ルノハ時ニ臨
ンデ出スト云フカラ強制紙幣ト並ミノ紙幣ト違ウト云ヘルガ「ボ
アソナード」ガ強制ト云フカラ質問シタ處ガ併セタコトチ云フノ
ダト云フカラ此方ガ宜シイガ、銀行紙幣ナドチ云ハヌノハ不都合
ダロウト思フ

今村報告委員 併シ銀行ノ紙幣ガ幾ラ下落シテモ取ラナケレハナラ
ヌト云ツタラ困ルデシヨウ、潰レ掛リタル銀行ノ紙幣ハ一万圓ア
ツテモ五千圓ニ外通ラナイト云フノチ與ヘテモ民法デハ左様ナル
者ヲ取ラナケレハナラヌ商法デハ取ラナケレバナラヌト云フト銀
行ノ紙幣モ即チ強制ニナル

渡委員 國立銀行ノ紙幣ハ強制ニハ入レラレマスマイ
今村報告委員 民法デモ商法デモ彼ヲ取レト定メタ以上デ強制デア
ルカ無イカ、強制ニナツテ仕舞フ

渡委員 強制ノ中へ入レマイ
今村報告委員 併シ民法デ命令スレハ出來マシヨウ
南部委員 民法デ取ラナケレハナラヌト定メルノハ酷イ
渡委員 全額ガアレバ宜シイ

栗塚報告委員 全額ト云フコトチ如何シテ知リマスカ、十錢紙幣ハ
東京テハ通用ガ止ツテ居ルニ奥州邊デハごんごん使テ居ルカラ取
テハ復タ其レチ使ウ、併シ其レチ否ダト云フ人ニ使ツタトキハ無

理ニヤルコトハ出来ナイ、案外盲目デ宜カツタト云フコトガアル
渡委員 盲目デハナイ御互ヒノ信用上デ使ツテ居ルカ知レヌ

松岡委員 民法デ見ルト「ボアソナーード」ガ書イタノハ政府カラ法
律デ認メテアルノハ強制ダト云フガ「ロエスレル」ハ戦時非常ノ
時分ニ使ウト云フ金額ノ紙幣ト云フノハ日本ニ如何ナル物ガアル
ダロウ、ソウスルト紙幣ト名ノ付イテ居ル物ハ皆強制ト云フヨリ
外ニナイ兌換紙幣モ租税、海關稅其他一切ノ取引ニ通用スルモノ
トスルトアル銀行紙幣モ同シコトデ政府發行ノ貨幣同様通用スヘ
シトアル

委員長 通用ノ方カラ云ヘバ左様タカ額ハ兌換銀券ト銀行紙幣ハ人
ガ便チ付ケタ以上ハ政府ガ便チ付ケルコトハナラヌト云フコトハ
出来ナイ

松岡委員 相對デ相場ヲ定メルコトハアルカ知レマセンカ、前日金

百圓ノ代チ拂ハナケレハナラヌト云フトキ紙幣ヲ百圓持テ來テ之
ハ紙幣ガ下落シテ居ル、之ハ政府ノ紙幣デアルト認メナケレハナ
ラヌ

委員長 兌換銀券ハソウデナイ、兌換銀券ハ何時テモ換ヘテ呉レ、
バ下リヤセヌ、併シ政府ガ其レチ引換ヘナイト下ツテ來ル政府ガ
一圓ニ取レト云テモ八拾錢ニ外取ラヌモノチ一圓ニ取レト云フコ
トハ出来ナイ

松岡委員 一圓ノ價ノ物ニ一圓ノ紙幣チヤツテ否トハ云ハセヌ
委員長 換ヘヌ故ニ直力下ツタトキ之チ上ケルカラ換ヘテ下サイト
云ヘルタロウ

松岡委員 其レハ政府ガ信用ヲ失ツタトキデス

委員長 兌換銀券ハ經濟上ノ消長カアルカラ止チ得サルトキハ下落
スル、故ニ三分ノ一ノ金チ政府ニ積マナケレハナラヌ、政府ガ三

分ノ一積ンテ置ケハ下落スルコトハナイ、下落スルコトガナケレ
ハ人民カ苦情ヲ云フコトハ出来ナイ、若シ五分ノ一モ積マレヌト
キハイケナイ

松岡委員 此法律ヲ立ルトキハ金ト云ヘハ金九銅二デ少しモ違ハヌ
ト云フ處デ國民タル者ガ通用スルトキ、金一圓デモ、銀一圓デモ
紙幣一圓デモ、義務ヲ免カル、モノダ其レヲ物價トシテ金ガ入用
ダカラ買オウ、銀ガ入用ダカラ買ウト商賣人同士デ扱ヘバ宜シイ
ガ義務ヲ免カル、爲メニハ紙一枚ヲモ動かヌト見テ置カナケレハ
ナラヌ

委員長 ソレデハ強制通用トハ云ヘヌデシヨウ只ノ紙幣ト云テ宜シ
イガ其レハ云ヘヌノデ立法者ノ眼ノ中ニナケレハナラン、ソコデ
下落シタトキハ如何スルカト書イタノデ變ノアルコトヲ豫想シナ
ケレハナラン、其トキ若シ信用ガナクナツタラ何ウト止テ得サル

トキノ防ク道ガナイカラネ

栗塚報告委員 ソレテ萬一ノトキニ必要デアリマス

清岡委員 強制通用ヲ止シテ全價額ヲ以テ通用ヲ要スル紙幣トシテ
仕舞テ宜シイ

松岡委員 ソレハ同意ハ出来マセン苟モ政府ノ通用ダカラ頭マテ政
府發行ノ紙幣國民以テ新々ノトキハ普通ノモノソヨト全價額ガア
レハ金銀ト同シニ立ツルト示セルモ同様デ大變ナ話デ國ガ立タヌ
様ニナリマス

清岡委員 ソンナコトガアルモノデスカ

栗塚報告委員 ソレハ大變デ相場ヲ付ケロト云フト同じデアリマス
カラソレハ往カヌ

松岡委員 私ノ思フニハ商法ヲ廢シタ時分此文ケノ議論チセスニ來
タノハ過チデアリマス

尾崎委員 全便額ヲ有スルト云フハ差支ナイ流通スルモノタカラ全
 便額ヲ以テ通用スルト云ヘハ貨幣デナケレハナランカ
 南部委員 ソウ云フノデナイ、先度商法ノトキ全便額ヲ以テト云フ
 言葉ハ畢竟差額アルカラ全便額ヲ以テト云フコトヲ商法ノトキ
 云タノデアリマス、ソウスルト悉ク全便額ヲ有スルトハ云ヘヌ
 清岡委員 全便額デ計算ト云フト下落シタトキハ仕方ガナイ、全便
 額ヲ有スルト云フハ畢竟強制モアルニ因テダロウ全便額ヲ有セナ
 イモノハ何カアルカナレハ先ツナイト云テ宜シイ
 松岡委員 通用ト云フノト見様ガ違ウ
 鶴田委員 違ヒマス
 松岡委員 全便額ヲ以テ通用スル紙幣ト云フハ時ノ相場カ百圓カ□
 百圓アルトキデスソレチ今日日本ノ法律テ認メタラ何ノ様ナ紙幣ニ
 差ノ立ツコトヲ認メルカ分リマセン今迄ハ素首ヲ押ヒテ強制セラ

レタカ今日カラ差シテ稱ハヌノダ全便額ヲ以テト較ラベテハ工合
 カ悪イノデス
 清岡委員 字カワルケレハ改メテモ宜シイ
 尾崎委員 強制通用ト云フノチ除リタイ
 南部委員 ソレハ分ラヌ
 松岡委員 強制ト云フノハ壓制ト云フノデハナイ
 尾崎委員 皆強制ニナルノダカラ別段ニ強制ト云フコトガアリマシ
 ヲウカ
 栗塚報告委員 兌換券ハ強制テハアリマセン
 尾崎委員 通ラヌト云フコトガアリマシヨウカ
 栗塚報告委員 一朝事アレハ一圓ヲ以テ兩替ノ出来マセヌトキデス
 尾崎委員 出来ヌトキハ政府ハ制ヲ改ヘナケレハナラン一圓ノ通用
 ソヨト云フ令ヲ出スコトガ出来ル

南部委員 兌換銀券ノ性質タル金銀ニ替ヘル性質ノモノデス、只ノ紙幣ハソウテナイノチスカラ即チ強制デス

松岡委員 只困タコトト思フノハ若シ之ヲ認メナケレハナラント云フハ下方テ今ノ紙幣ナリ銀行紙幣ナリヲ以テ政府へ納メル租稅ヲ持テ行ク、直ノ下テ居ル紙幣ヲ以テ行ク其時分政府ハ何ト云フカ之ハ此頃相場カ安イカラ租稅ニハ取レヌトハ言ハレマセヌ其方ニハ言ハレヌシテ一方ニ拂フニ政府ハ其受取ル人間ニ責様ハ受取ラヌテモ宜シイ相場カ下落シテ居ルカラト言ハレマシヨウカ政府ハ我が租稅ヲ取テ一圓ニテ取り一方ノ權利者ヲ取ル時分ニハ取レヌト云フコトハアリマセン

清岡委員 政府カラ命令シテ發行シタモノハ下ツテモ一圓テ宜シイ
栗塚報告委員 ソレカ即チ強制通用トナルノテアリマス
南部委員 強制通用ハ即チ金額ヲ以テ通用スル云フコトハ出來ナイ

民財七ノ九四

栗塚報告委員 金額ノアル間ハ強制通用ニスルト云フ御説ニナル様テス

尾崎委員 全體強制ト云フコトハ云フニ及ハヌ

清岡委員 兌換券ノ如キハ金モ同シコトデ其レハ勝手ニ出來ル

栗塚報告委員 相場ヲ許サ、ル紙幣ト書イテアルノデス

尾崎委員 現行ノ紙幣モ何モソウナツテ仕舞フ

松岡委員 外國ノ法ニスルト相場立チ公然許ス紙幣ト云フノカアル

タロウ

委員長 公然許サヌガ勢ヒ免レヌ、兌換銀券銀行紙幣ナドチ外國デモ相場ヲ許スト云フコトハアリハセヌ、此處デ論ノ歸着スル處ハ民法ハ箇様ニ書イテ置ケハ商法ト同シニ行クダロウカ、殊ニ依ルト好事家ガ出來様ト云フノガーツト商法ノ様ニシテ行ケハ商人互ヒテハ知り悪クイテアロウガ其者等ガ自分ガ知ラシテモ取ラナケ

レハナラヌト云フ丈ケノコトデス、其處丈ケニ論點ガ約マツテ居ル

渡委員 商法ノ方モ未定ニナツテ居リマス商法モ起案者ニ聞イテ民法ト同シク論スルコトニナツテ居ル、事實ハ大層違イハセヌト思フ幾ント一ニ陥ルト思ヒマスカ強制ト云フコトノ精神ハ兩起案者カ別ニナツテ居ル

委員長 違ツテハ居リマセン

鶴田委員 違ツテハ居ラヌ

渡委員 「ロエスレル」ハ三通リニ書イテ居リマス之ハ概シテ強制トナツテ居ル

委員長 概シテ此内ニ包含シテ居ルト云フノデハナイ、金銀ノ代ハリチスルノハ強制通用テナケレハナラヌト云フノガ「ボアソナー」ノ旨意ダカ此裏チ云ヘハ人ガ同ジ紙幣チ出セバ否ト云フコト

民財七ノ九五

ハアルマイ金銀貨ヲ求ノルトキハ金銀貨ノ代ハリニスルニハ強制通用ノ紙幣バカリダト定メ度イノダカラ、此通行ニシテ民法ハ狭ク見テ商法ハ廣クシテ置ケハ宜シイ

栗塚報告委員 其レデ宜シウ御座ヒマス

松岡委員 紙幣ト云フモノチ一般學問上通常行ハル、處ノ論ニスルト信用不信用カラ起ル、然レトモ法律ノ力ニ依リ新クナルトキハ別段トストアル其別段ト云フ種類チ契約ヲ定メテナイトキハ負債者ガ定メル、負債者ガ定メルニ一ノ制限ガナケレハナラヌカラ實價ノ少ナイ物チ返付シテ債主ニ損チ掛ケテハナラヌ、金ニ換ヘルニ銅貨チ與ヘルコトハ出來ヌ然リト雖モ法律ノ力テ拒マレヌモノハ即チ強迫ノ命令ニ依テ一般融通スヘキトアルカラ金銀ノ貨幣モ銀行紙幣モ一般ニ通用スル

栗塚報告委員 今日ノ銀行紙幣ハ「ロエスレル」カ強制ト見テ居ル

カ居ラヌカト云フノテシヨウ

松岡委員 此處テハソウナツテ居ル

委員長 ソウテナイ金ノ代ハリニ銅チヤツテハナラヌ換チサセテハ
ナラヌカラ之ニ換ヘルノハ單リ強制通用ノ紙幣チ以テシナケレハ
ナラヌ併シナカラ銀行紙幣カアツテモ其他ノ紙幣チアツテモ全額
チ以テ通用スル紙幣ナレハ通用スルコトカ出來ル

松岡委員 紙幣ト云フモノハニツナケレハナラヌ法律チ拒ムコトノ
出來ルモノト出來ヌモノトアル

委員長 拒マナイモノハ今ノ兌換銀券チ下落シテモ良イト云フコト
ハ云フテナイカ是非通用セヌト云フコトカナケレハ下落シテモ仕
方カナイ「ロエスレル」ハ場所ニ於テ金額チ以テ通用スルト區別
カシテアルカラ決シテ日本ノ銀行紙幣チ偽造スレハ偽造賣買ノ罰
ニ當テラレルト云フ處チ以テ兌換銀券ト銀行紙幣ト同シト見ルコ

民財七ノ九六

トハ出來ヌト思ヒマス唯民法ト商法ト違ヘテ置イテ宜シイカト云
フ丈ケテス

南部委員 違ヘテ宜シイ

鶴田委員 違ヘテ宜シイト思フ

栗塚報告委員 銀行紙幣チ強制通用ノ紙幣トハドウシテモ云ヘヌ大
藏大臣ハ此紙幣ノ抵當トシテ大藏省出納局ニ預リ候也」ト云テア
ル

松岡委員 其法律ニハ銀行紙幣ハ諸官廳又ハ銀行會社其他チ見ヌテ
ス日本全國何レノ地ニ於テモ租稅貸借ノ取引工業其他一切公私ノ
取引ニ於テ總テ政府發行ノ貨幣同様通用スヘシトアル

委員長 其レハ通用丈ケタ

松岡委員 拒ムコトハ許サヌ其レカ即チ強制通用タロウ

清岡委員 其ウスルト銀行紙幣チ與ヘテ義務チ免カレルコトハ出來

ナイ

栗塚報告委員 原則カラ論スレハ新クノ如クナル

村田委員 相場ノ違ツテ居ル紙幣ヲ持テ行ケハ斷ルコトカ出來ル

今村報告委員 潰シ掛ツタ銀行ノ紙幣ヲ持テ來テ此間借リタ百圓ノ

借リニ返ヘスト云テハ困ルダロウ

渡委員 水掛ケ論ニナル、強制通用ノ紙幣ヲ以テ義務ヲ免カル、ト

云ヘハ強制通用ノ紙幣デナケレハ義務ハ免カレヌ様ニナル

松岡委員 併シ通用ヲ拒ム者ハ國法デ罰スルトアル

栗塚報告委員 其レハ通用丈ケダ

清岡委員 今日ノ銀行デ眞ニ信用ノアル銀行ハ寥寥タルモノデ、何

處ノ銀行ハ評判ガ悪イト云フト其銀行ノ紙幣ハ否ダ否ダト云テ刻

ネ付ケラレルト銀行ノ紙幣ハ頓ニ下落スル

委員長 民法バカリナレハ貴君ノ様ナ弊ガアルガ商法ハ幅ガ廣クシ

民財七ノ九七

テアルカラ實際差支ナイ唯文面デ云フト好事家ガ居レハ否ダト云
テ困ラセル者ガアルカ知ラヌト云フ丈デス

栗塚報告委員 其信用ノナイ紙幣ヲ如何シテ強テ取レト云フコトガ

政府デ云ヘマシヨウ

清岡委員 政府ハ抵當ヲ取テ居ルカラ損ハシナイ

尾崎委員 政府カ自カラ出シタノト同シコトダ

南部委員 不換紙幣ヲ政府ガ發行シタト同シニ見ヘマスカ

尾崎委員 同シコトデス少シモ變ツタコトハナイ

今村報告委員 併シ換ヘテヤルコトハ換ヘテヤル

尾崎委員 銀行ガ潰レヌ以上ハ政府發行ノ紙幣ト同シニ見ナケレハ

ナラヌ

委員長 政府發行ノ紙幣ニハ換ヘテヤルト云フコトハ審イテナイ、

外ノ銀行紙幣デモ何デモ換ヘテヤルト云フノハ保證ニナツテ居ル